

# 目次

## ■ 第1章 農業の概要

- 1 青森県の自然……………1
- 2 農林水産業の動向……………2
- 3 農業産出額……………4

## ■ 第2章 畜産の概要

- 1 畜産産出額……………5
- 2 主要家畜の頭羽数……………5

## ■ 第3章 家畜飼養動向

- 1 乳用牛……………6
- 2 肉用牛……………8
- 3 豚……………10
- 4 採卵鶏……………12
- 5 ブロイラー……………13
- 6 その他……………14

## ■ 第4章 畜産物の流通と価格

- 1 牛乳……………15
- 2 肉用牛……………17
- 3 豚……………19
- 4 鶏卵……………21
- 5 ブロイラー……………23
- 6 畜産物支出金額、購入数量……………24

## ■ 第5章 畜産物の生産費と収益性

- 1 生乳……………25
- 2 肉用牛……………26
- 3 豚……………28

## ■ 第6章 草地と飼料

- 1 自給飼料の生産……………29
- 2 草地面積……………30
- 3 配合飼料の生産……………31
- 4 青森県飼料作物奨励品種……………32

## ■ 第7章 家畜衛生

- 1 家畜防疫事業の推移……………33
- 2 監視伝染病発生状況……………34

## ■ 第8章 環境保全

- 環境汚染発生状況……………35

## ■ 第9章 参考資料

- 1 青森県酪農・肉用牛生産近代化計画の目標……………36
- 2 青森県養豚・養鶏振興プランの目標……………37
- 3 畜産行政組織の概要……………39
- 4 試験研究機関……………40
- 5 行政区域・各機関所在地……………40
- 6 畜産関係機関・団体……………41
- 7 畜産関係施設……………42
- 8 県内の特徴的な動き……………43
- 9 県基幹種雄牛……………45



# 第1章 農業の概要

## 1 青森県の自然

### 〔位置〕

本県は、本州の最北端に位置し、北は津軽海峡を隔てて北海道と相対し、東は太平洋、西は日本海に囲まれ、南は秋田・岩手両県に接している。

青森市から東京までは、国道4号では約740km、鉄道距離（東北新幹線）では約710kmで、時間距離は自動車では東北縦貫自動車道を利用すると約8時間、鉄道では最短で約3時間、飛行機では約1時間15分となっている。

### 〔面積〕

本県の面積は、全国8位の約9,646km<sup>2</sup>で全国の約3%を占めているが、人口密度は約135.6人/km<sup>2</sup>で全国41位となっており、1人当たりの面積が広く、豊かな自然に恵まれている。

### 〔地形〕

県の中央部の奥羽山脈を境として、日本海側の津軽地方では、奥羽山脈の延長にある山地と出羽山地の延長にある山地によって囲まれた広大な沖積平野である、肥沃な津軽平野が岩木川流域に広がっている。

また、奥羽山脈の北端には、青森市を中心とした青森平野が広がっている。

一方、太平洋側の県南地方では、北上山地から続く火山灰土に覆われた台地や段丘が広く分布し、下北半島の首部から十和田市・八戸市に及ぶ地域には丘陵地が形成されている。

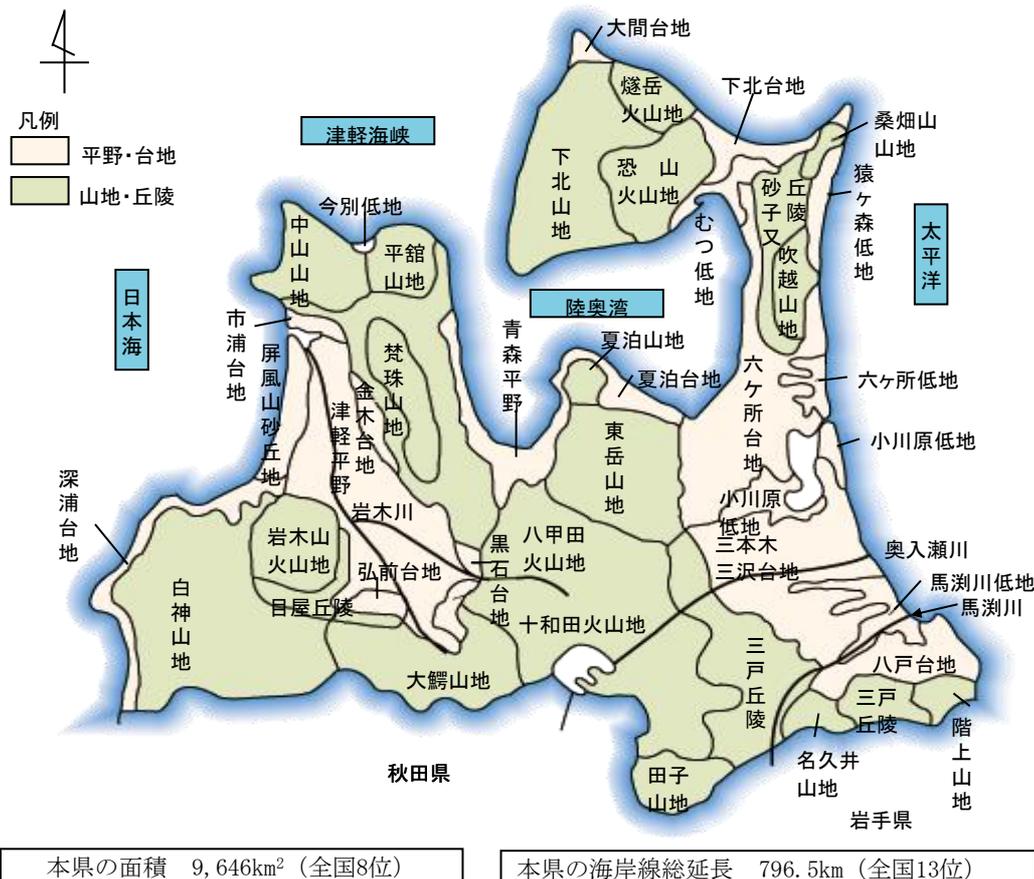
西の津軽半島と東の下北半島はそれぞれ北に延び、両半島の真ん中に陸奥湾が存在する。

### 〔気候〕

夏が短く冬が長い冷涼な気候で、四季がはっきりしている。夏季は、津軽地方は比較的気温が高く温暖な日が多いが、県南地方では春の終わりから夏にかけてヤマセ（偏東風）が吹き、低温の日が多い。

冬季は、西ないし北西の季節風が多くなり、津軽地方では雪の日が多く多雪となるが、県南地方は冷え込みが厳しいものの、晴天の日が多く雪は少ない。

青森の地質区分



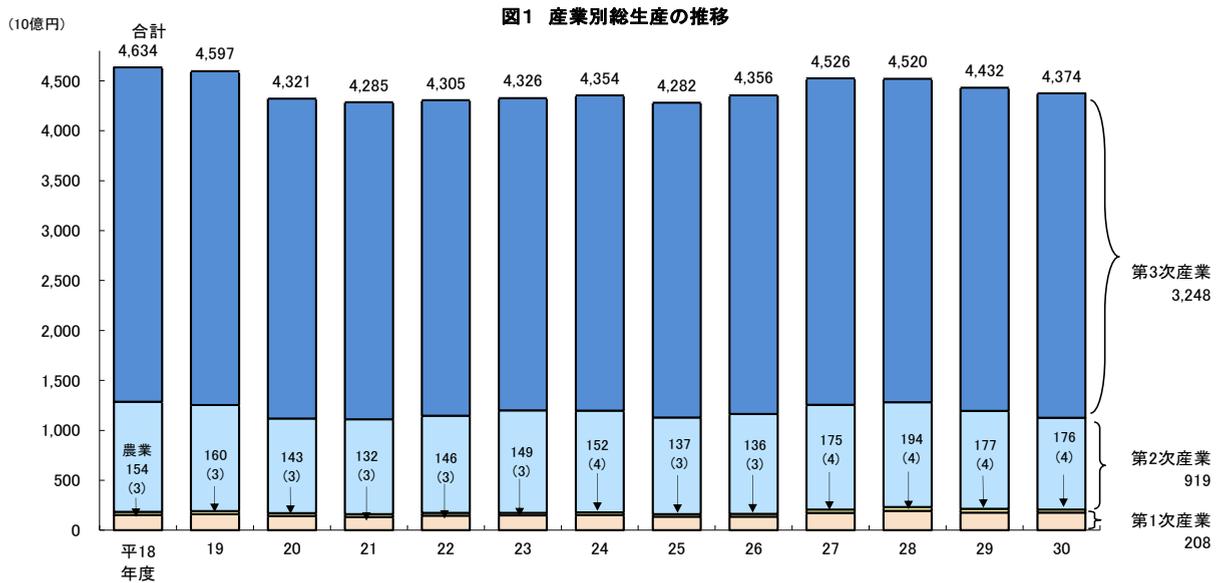
資料：図説 農林水産業の動向（青森県農林水産部）

## 2 農林水産業の動向

### 本県農林水産業の地位

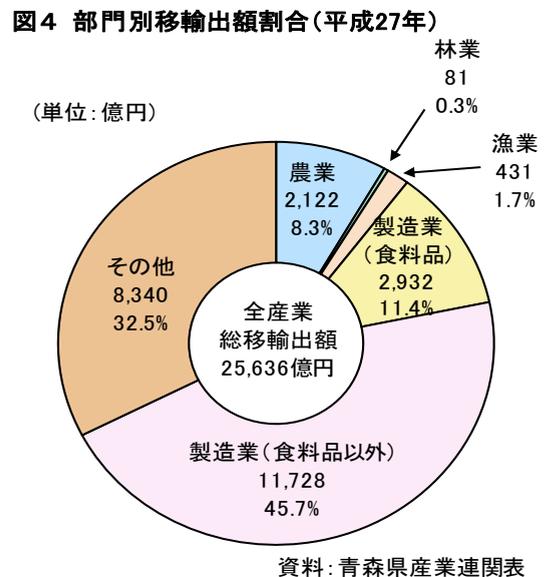
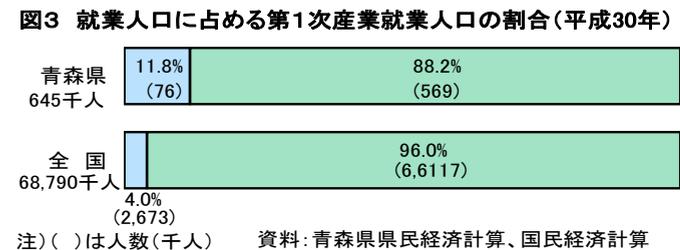
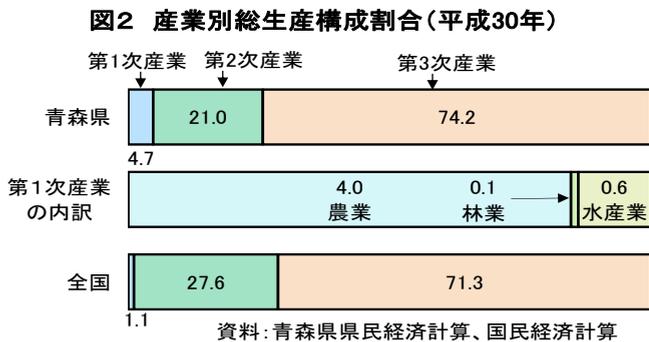
県内総生産に占める第1次産業の割合（平成30年）は4.7%、全産業の就業人口に占める第1次産業の割合（平成30年）は11.8%と、それぞれ全国平均の1.1%、4.0%に比べ高い水準となっている（図1、図2、図3）。

また、平成27年の産業連関表からみると、県全体の総移輸出額に占める第1次産業の割合は10.3%、農水産物の供給先である製造業（食料品）が11.4%で、第1次産業生産が県経済に及ぼす影響は依然として大きく、農林水産業は本県の基幹産業として位置付けられる（図4）。



注) 第3次産業には「輸入品に課される税・関税及び総資本形成に係る消費税を含む」  
( )は構成割合(%)

資料: 青森県県民経済計算



資料: 図説 農林水産業の動向 (青森県農林水産部)

## 主 要 指 標

区 分		単位	年次	青森県	東 北	全 国	青 森 /東北	青 森 /全国	東北 順位	全国 順位
農 林 業 経 営 体		経営体	2	29,362	196,614	1,092,250	14.9	2.7	5	14
農 業 経 営 体		経営体	2	29,022	194,193	1,075,705	14.9	2.7	4	13
個 人 経 営 体		経営体	2	28,232	187,885	1,037,342	15.0	2.7	4	13
主 副 業 別	主 業 農 家 戸	戸	2	11,604	44,551	230,855	26.0	5.0	1	2
	準 主 業 農 家 戸	戸	2	3,313	30,655	142,538	10.8	2.3	6	18
	副 業 的 農 家 戸	戸	2	13,315	112,679	663,949	11.8	2.0	6	24
林 業 経 営 体		経営体	2	678	5,133	34,001	13.2	2.0	4	19
基 幹 的 農 業 従 事 者		人	2	48,083	249,712	1,363,038	19.3	3.5	2	7
平 均 年 齢		歳	2	65.4	67.7	67.8	—	—	(若さ)1	(若さ)2
総 農 家 戸		戸	2	36,465	270,079	1,747,079	13.5	2.1	1	25
販 売 農 家 戸		戸	2	28,062	186,191	1,027,892	15.1	2.7	3	35
農 業 就 業 人 口		人	27	64,746	375,640	2,096,662	17.2	3.1	3	9
平 均 年 齢		歳	27	63.8	66.2	66.4	—	—	(若さ)1	(若さ)2
耕 地 面 積		ha	2	149,800	827,100	4,372,000	18.1	3.4	1	4
田		ha	2	79,400	595,800	2,379,000	13.3	3.3	6	10
畑		ha	2	70,400	231,300	1,993,000	30.4	3.5	1	3
耕 地 利 用 率		%	令元	80.5	83.6	91.4	—	—	5	39
水 稲 収 穫 量		t	2	282,200	2,236,000	7,763,000	12.6	3.6	5	10
り ん ご 収 穫 量		t	2	463,000	600,700	763,300	77.1	60.7	1	1
乳 用 牛 飼 養 頭 数		頭	2	11,800	99,200	1,352,000	11.9	0.9	4	19
肉 用 牛 飼 養 頭 数		頭	2	53,700	334,500	2,555,000	16.1	2.1	3	12
野 菜 栽 培 延 べ 面 積		ha	令元	15,726	48,200	423,200	32.6	3.7	1	6
農 業 産 出 額		億円	2	3,262	14,426	89,521	22.6	3.6	1	7
主 要 作 物	米	億円	2	548	4,586	16,553	12.0	3.3	6	11
	野 菜	億円	2	821	2,633	22,481	31.9	3.7	1	9
	果 実	億円	2	906	2,194	8,741	41.3	10.4	1	1
	う ち り ん	億円	2	838	—	—	—	—	1	1
	畜 産	億円	2	883	4,412	32,279	20.0	2.7	2	10
生 産 農 業 所 得		億円	2	1,211	5,232	33,604	23.1	3.6	1	6
食料自給率(カロリーベース)		%	令元	123	—	38	—	—	3	4
食料自給率(生産額ベース)		%	令元	241	—	66	—	—	1	3
農 家 総 所 得		千円	28	5,095	4,647	5,212	109.6	97.8	1	—
農 家 所 得 ①		千円	28	3,612	2,951	3,260	122.4	110.8	1	—
農 業 所 得 ②		千円	28	2,682	1,664	1,851	161.2	144.9	1	—
農 業 生 産 関 連 事 業 所 得		千円	28	1	23	6	4.3	16.7	5	—
農 外 所 得		千円	28	929	1,264	1,403	73.5	66.2	4	—
農 業 依 存 度 ② / ①		%	28	74.3	56.4	50.7	131.8	146.5	1	—

資料：図説 農林水産業の動向(青森県農林水産部)

### 3 農業産出額

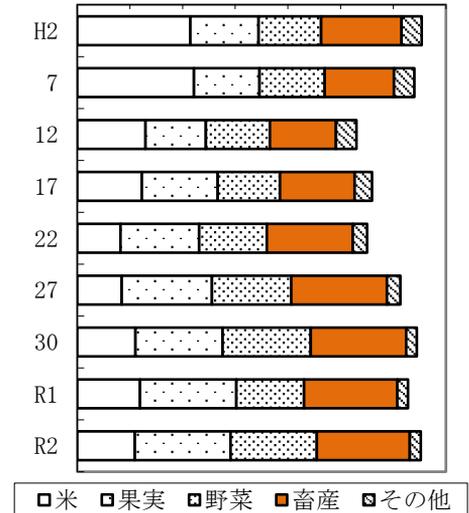
#### 農業産出額とは

年内に生産された農産物総量（自家消費分も含む）から、種子及び飼料などの中間生産物を控除した各農産物数量に、農家の販売価格（農家受取価格）を乗じて算出したものである。

(単位：億円)

年	合計	米	果実	野菜	畜産	その他
H2	3,270	1,074	647	593	<b>766</b>	190
7	3,200	1,109	621	619	<b>656</b>	195
12	2,649	647	573	608	<b>628</b>	193
17	2,797	613	722	589	<b>710</b>	163
22	2,751	410	746	643	<b>818</b>	134
27	3,068	422	857	751	<b>910</b>	128
30	3,222	553	828	836	<b>905</b>	100
R1	3,138	596	914	642	<b>885</b>	101
R2	3,262	548	906	821	<b>883</b>	104

年次 (単位：億円)



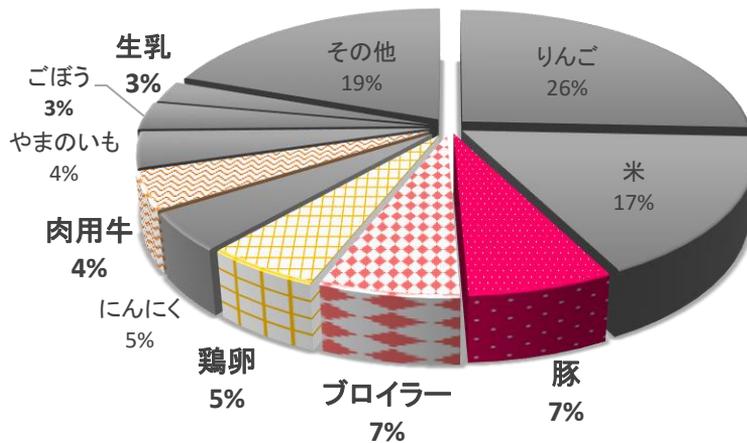
資料：生産農業所得統計

県内産出額上位10品目（令和2年）

(単位：億円)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
品目	りんご	米	豚	ブロイラー	鶏卵	にんにく	肉用牛	やまのいも	ごぼう	生乳
産出額	838	548	<b>224</b>	<b>217</b>	<b>179</b>	147	<b>144</b>	138	108	<b>83</b>

資料：生産農業所得統計



# 第2章 畜産の概要

## 1 畜産産出額

令和2年の畜産産出額は、前年に比べて0.2%減の883億円となっており、畜種別では鶏411億円（対前年比3.0%増）、豚224億円（対前年比1.4%増）、肉用牛144億円（対前年比11.1%減）、乳用牛93億円（対前年比2.2%増）となっている。

（単位：億円）

年次	合計	乳用牛		肉用牛	豚	鶏			その他
		生乳				鶏卵	ブロイラー		
S55	586	107	80	52	186	220	174	-	24
60	623	105	85	67	194	239	156	-	19
H2	766	103	83	97	255	283	142	-	28
7	649	97	78	72	216	257	131	-	6
12	627	78	71	75	185	282	137	-	8
17	710	73	68	81	223	324	147	153	10
22	818	72	69	120	258	357	169	182	12
27	910	78	69	146	258	412	195	210	16
30	905	86	72	164	216	424	193	216	15
R1	885	91	78	162	221	399	178	204	13
R2	883	93	83	144	224	411	179	217	13

※ 平成12年以前は、ブロイラーの産出額の調査は行っていない。

資料：生産農業所得統計

## 2 主要家畜の頭羽数

### (1) 飼養戸数、頭羽数（乳用牛・肉用牛：令和3年2月1日現在）

（単位：戸、頭、千羽）

乳用牛				肉用牛			豚		採卵鶏		ブロイラー		
飼養戸数	飼養頭数			飼養戸数	飼養頭数		飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数 成鶏めす	飼養戸数	飼養羽数	
	合計	2歳以上	2歳未満		合計	肉用種							乳用種
165	12,000	9,300	2,670	792	53,400	29,900	23,500	63	352,700	27	5,332	64	7,087

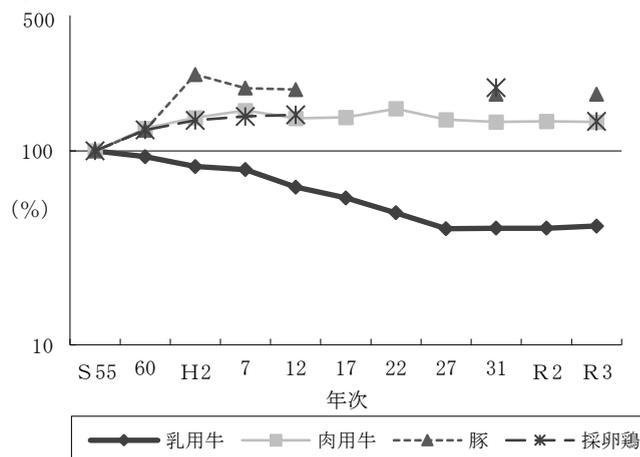
資料：畜産統計

### (2) 家畜飼養頭羽数の対昭和55年比の推移

現在の家畜飼養頭羽数を昭和55年と比較すると、豚（196%）、採卵鶏（142%）、肉用牛（141%）は伸びており、乳用牛（41%）は減少している。

（単位：%）（対数表示）

年次	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏
S55	100	100	100	100
60	93	130	128	128
H2	83	148	248	144
7	80	161	211	151
12	65	147	207	154
17	57	149	/	/
22	48	165	/	/
27	40	145	/	/
31	40	141	196	212
R2	40	142	/	/
R3	41	141	196	142



資料：畜産統計・食鳥流通統計

※平成17年、22年、27年、令和2年は農業センサス実施年のため豚及び採卵鶏の調査データなし

# 第3章 家畜飼養動向



## 1 乳用牛

### (1) 飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は年々減少し、令和3年は前年より7戸減の165戸となった。  
飼養頭数は12,000頭で、前年に比べて微増している。

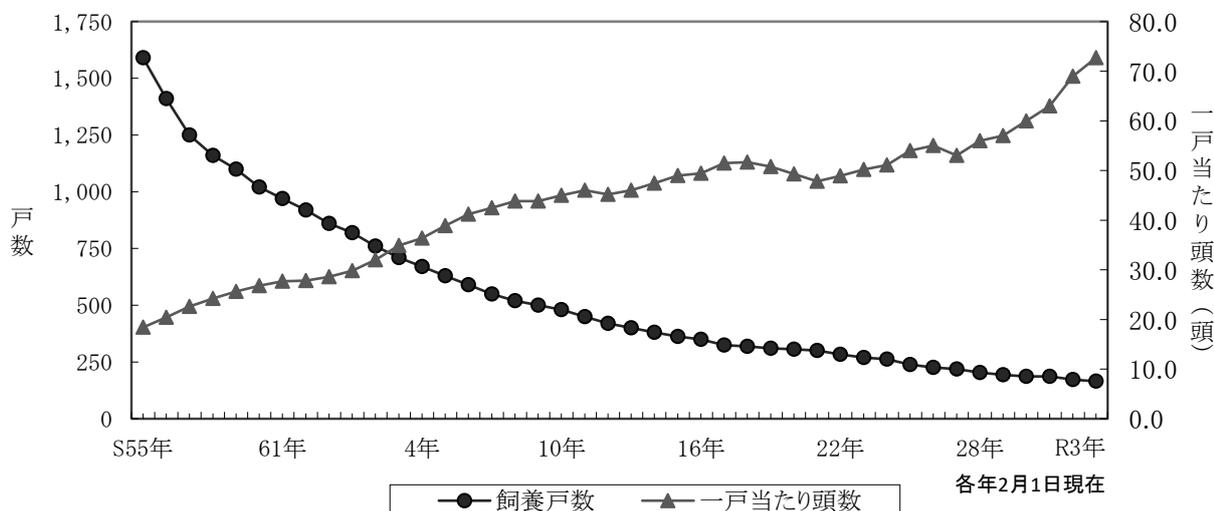
(単位:戸、頭)

区 分	飼養戸数	飼 養 頭 数 (めす)							一 戸 当 たり 頭 数	
		合計	2 歳 以 上					2歳未満		
			計	経 産 牛			未 経 産 牛			
				小計	搾乳牛	乾乳牛				
青森県	S55.2.1	1,590	29,200	21,100	18,300	14,820	3,480	2,810	8,090	18
	60.2.1	1,020	27,300	19,510	17,200	14,000	3,200	2,310	7,820	27
	H2.2.1	760	24,300	16,300	15,200	12,900	2,250	1,120	8,040	32
	7.2.1	550	23,400	16,200	14,700	12,600	2,060	1,490	7,210	43
	12.2.1	420	19,000	13,900	12,700	11,000	1,700	1,200	5,170	45
	17.2.1	324	16,700	11,500	10,500	8,970	1,540	940	5,250	52
	22.2.1	284	13,900	9,920	9,690	8,390	1,300	230	3,940	49
	27.2.1	219	11,600	8,120	7,880	6,930	950	230	3,520	53
29.2.1	青森	194	11,100	8,050	7,830	6,800	1,020	230	3,080	57
	全国	16,400	1,323,000	913,800	852,100	735,200	116,900	61,700	409,300	81
30.2.1	青森	187	11,300	8,270	8,050	7,000	1,050	230	3,040	60
	全国	15,700	1,328,000	906,900	847,200	731,100	116,100	59,700	421,100	85
31.2.1	青森	186	11,700	8,520	8,290	7,210	1,080	240	3,170	63
	全国	15,000	1,332,000	900,500	839,200	729,500	109,700	61,300	431,100	89
R2.2.1	青森	172	11,800	9,180	8,540	7,280	1,270	630	2,650	69
	全国	14,400	1,352,000	900,300	838,900	715,400	123,500	61,400	452,000	94
R3.2.1	青森	165(20)	12,000(17)	9,300	8,680	7,460	1,220	620	2,670	73(17)
	全国	13,900	1,356,000	910,000	849,300	726,000	123,300	60,700	446,400	98

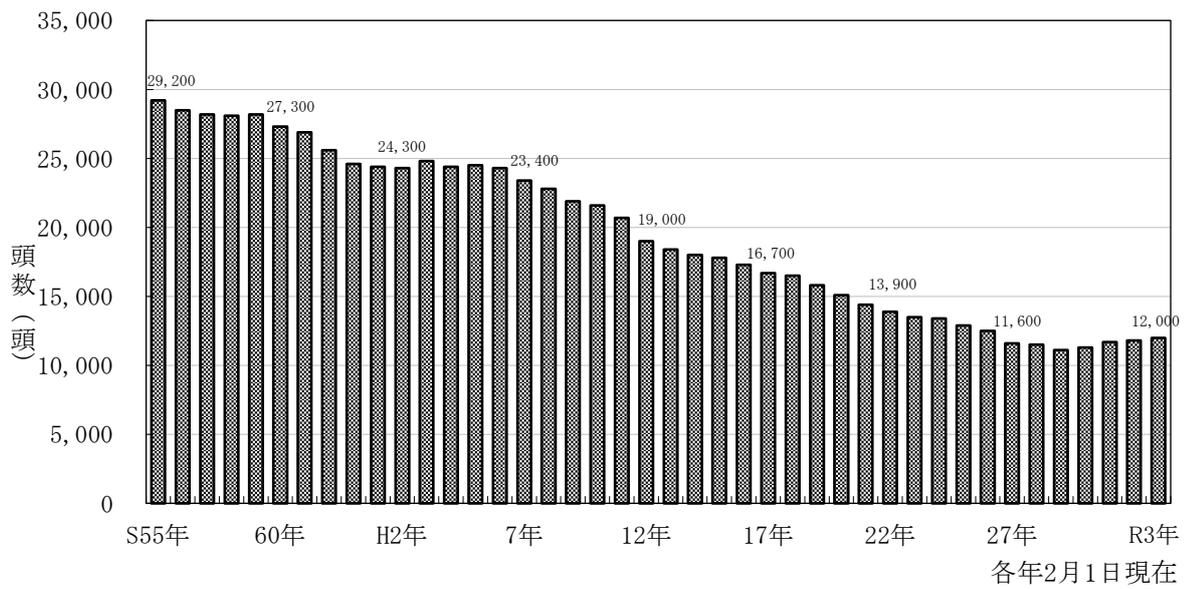
※ ()は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

資料：畜産統計

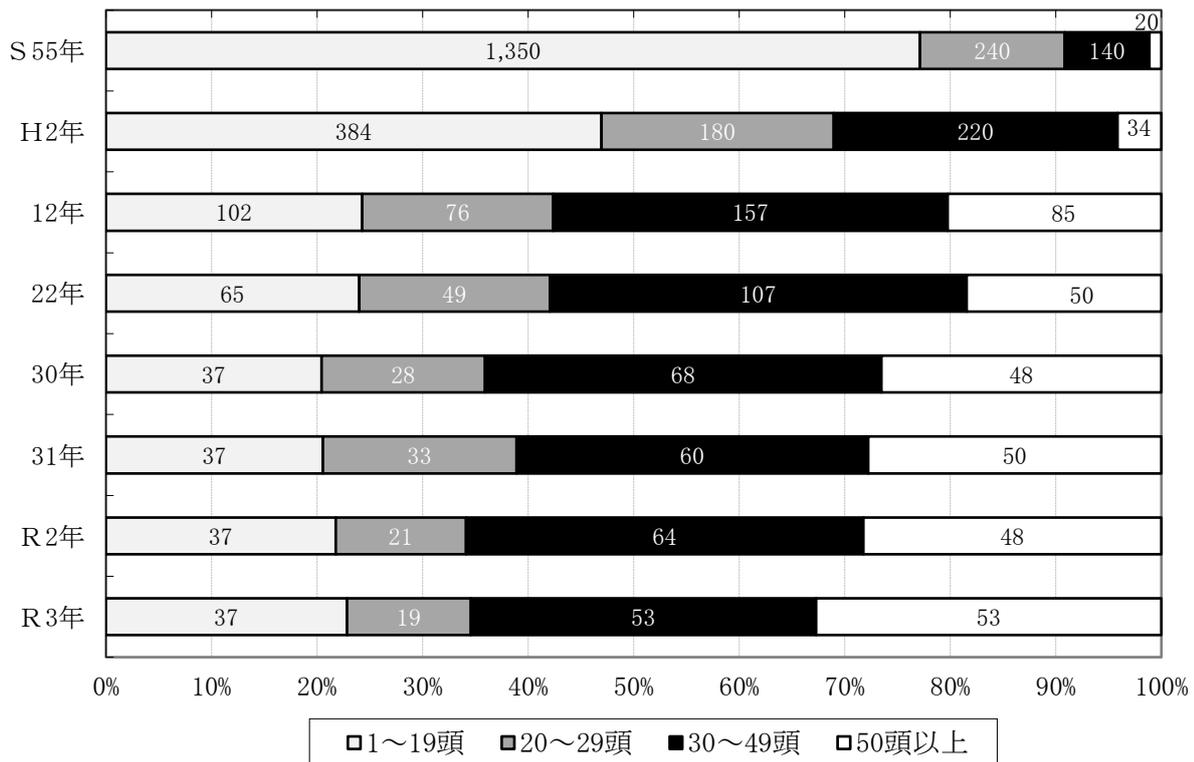
### ①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



②飼養頭数の推移

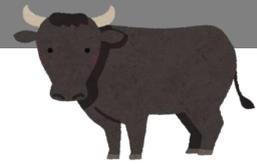


(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合 (成畜)



資料：畜産統計

## 2 肉用牛



### (1) 飼養戸数及び飼養頭数

令和3年の飼養戸数は前年より32戸減少し、792戸となった。飼養頭数は53,400頭で、前年に比べて微減したが、うち肉用種繁殖めすは、前年に比べ2.3%増の13,200頭となった。

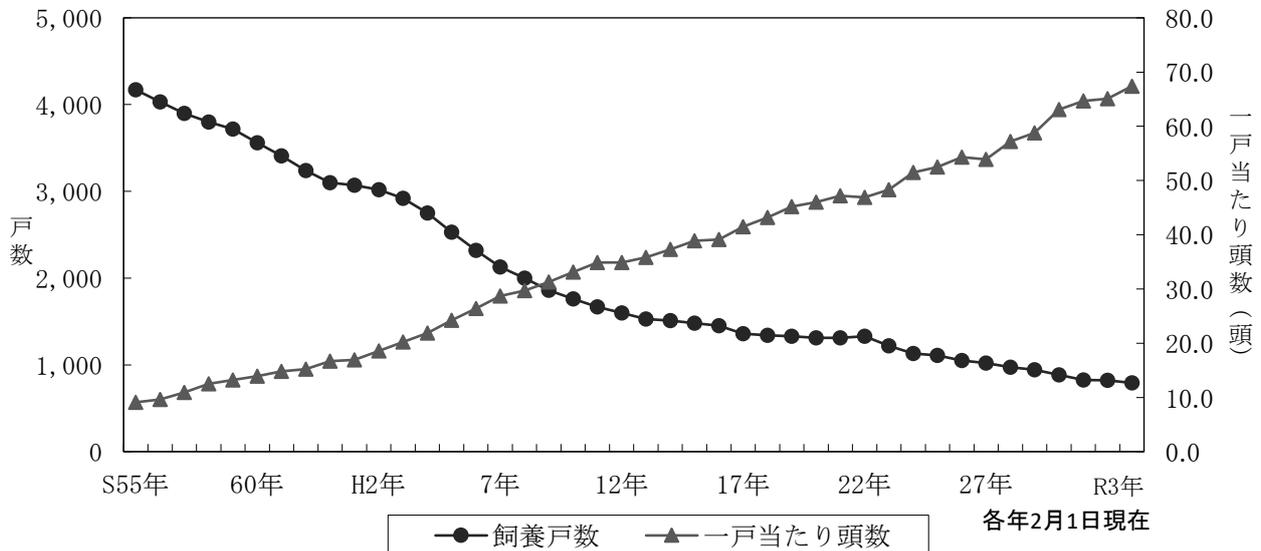
(単位:戸、頭)

区分	飼養戸数	飼養頭数					一戸当たり頭数	
		計	肉用種めす		肉用種おす	乳用種		
			うち繁殖めす					
青森県	S55.2.1	4,170	37,910	4,930		8,740	10,430	9
	60.2.1	3,560	49,400	5,800		9,460	19,500	14
	H 2.2.1	3,020	56,200	17,600		8,520	30,100	19
	7.2.1	2,130	61,200	17,800		13,700	29,600	29
	12.2.1	1,600	55,800	16,700	10,900	9,700	29,400	35
	17.2.1	1,360	56,500	16,200	10,400	9,110	31,200	42
	22.2.1	1,330	62,400	19,500	14,200	9,250	33,600	47
	27.2.1	1,020	55,000	17,300	12,000	7,320	30,500	54
29.2.1	青森	942	55,400	17,700	12,000	8,000	29,700	59
	全国	50,100	2,499,000	1,070,000	597,300	593,800	834,700	50
30.2.1	青森	886	55,900	18,700	12,300	8,880	28,300	63
	全国	48,300	2,514,000	1,091,000	610,400	610,100	813,000	52
31.2.1	青森	827	53,500	19,000	12,500	9,010	25,400	65
	全国	46,300	2,503,000	1,114,000	625,900	620,300	769,600	54
R2.2.1	青森	824	53,700	19,300	12,900	9,620	24,700	65
	全国	43,900	2,555,000	1,138,000	622,000	654,200	763,400	58
R3.2.1	青森	792(14)	53,400(12)	19,500	13,200	10,400	23,500	67(24)
	全国	42,100	2,604,000	1,162,000	632,800	667,200	775,200	62

※ ( ) は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

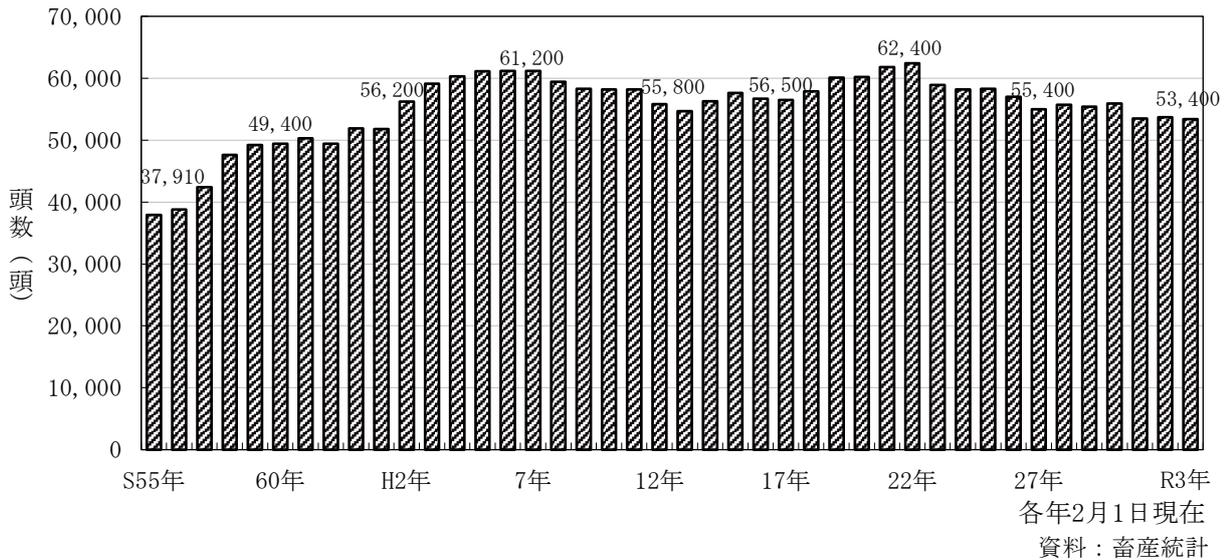
資料：畜産統計

### ①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移

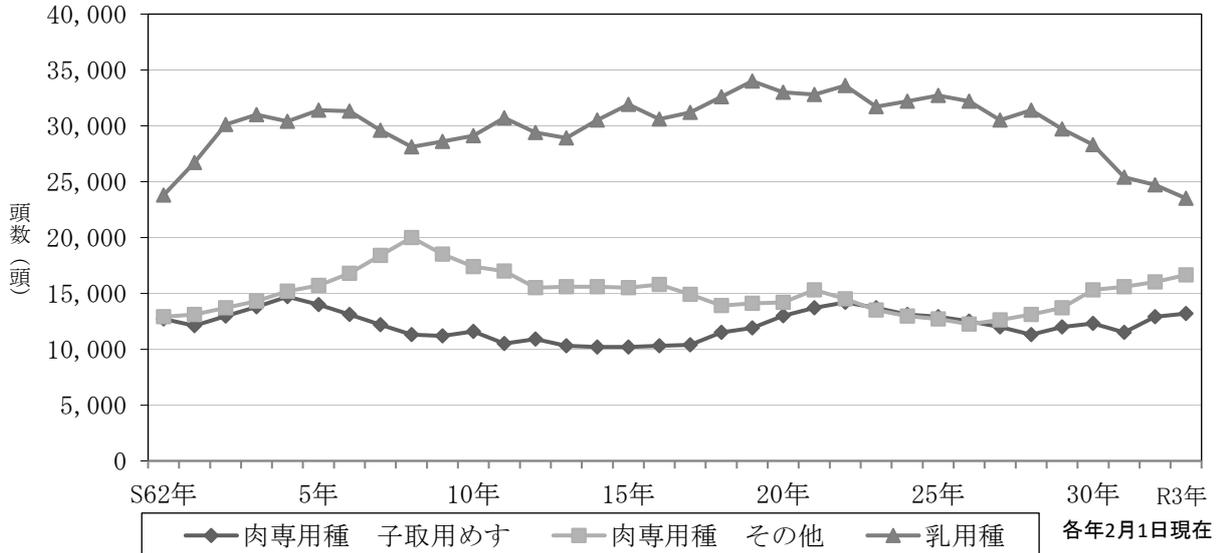


資料：畜産統計

②飼養頭数の推移



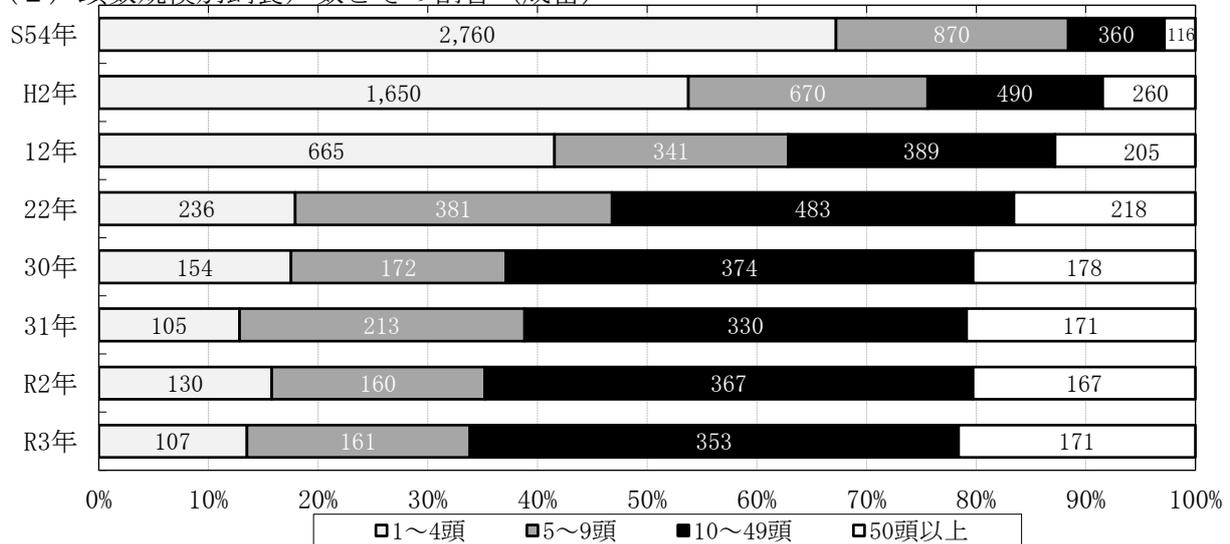
③品種別飼養頭数の推移



(※ 平成2年次、7年次はセンサス年で一部調査を中止しているため、前後年の中間値を用いた)

資料：畜産統計

(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合 (成畜)



### 3 豚



#### (1) 飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は減少が続いており、令和3年は前々年より10戸減少し63戸となった。飼養頭数は、前々年に比べ0.3%増の352,700頭となった。また、一戸当たりの飼養頭数は年々増加傾向で推移し5,598頭となっている。

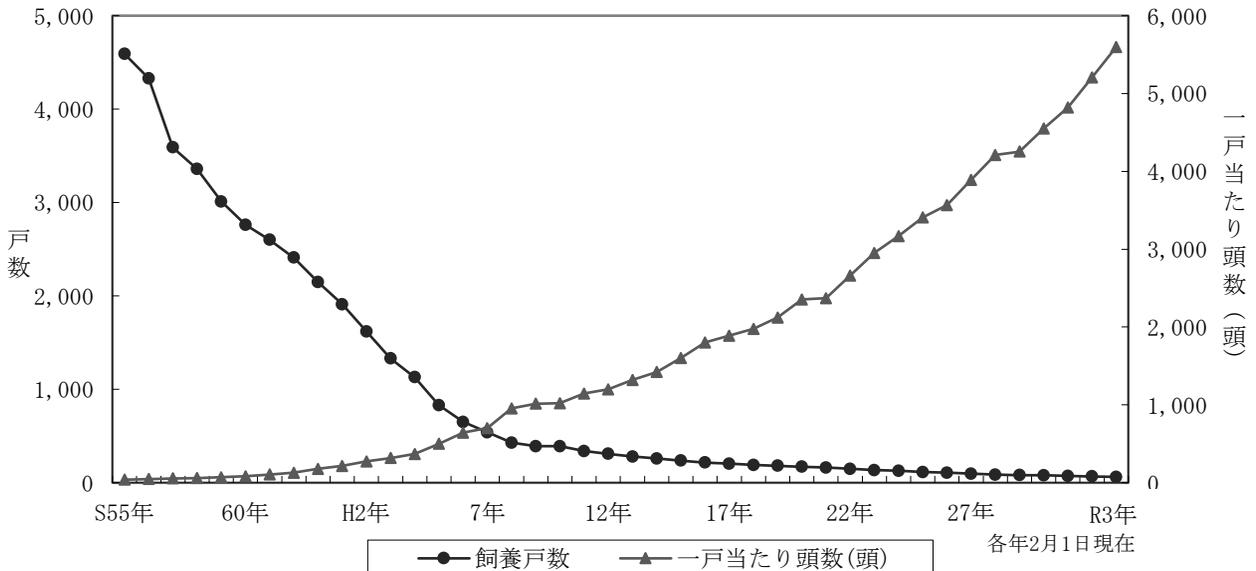
(単位:戸、頭)

区 分	飼 養 戸 数		飼 養 頭 数		一戸当たり 頭数	
		子取り用めす豚		子取り用めす豚		
青森県	S55.2.1	4,590	3,610	179,610	23,760	39
	60.2.1	2,760	2,540	229,600	29,800	83
	H 2.2.1	1,620	1,240	445,100	43,500	275
	7.2.1	540	480	378,700	39,600	701
	12.2.1	310	290	372,000	36,200	1,200
	16.2.1	216	190	389,300	35,600	1,802
	21.2.1	163	142	386,600	34,000	2,372
28.2.1	青森	86	66	362,100	28,000	4,211
	全国	4,830	3,940	9,313,000	844,700	1,928
29.2.1	青森	82	58	348,800	30,300	4,254
	全国	4,670	3,800	9,346,000	839,300	2,001
30.2.1	青森	79	55	359,500	31,500	4,551
	全国	4,470	3,640	9,189,000	823,700	2,056
31.2.1	青森	73	54	351,800	32,900	4,819
	全国	4,320	3,460	9,156,000	853,100	2,119
R3.2.1	青森	63(20)	46	352,700(9)	29,100	5,598(3)
	全国	3,850	3,040	9,290,000	823,200	2,413

※平成17年、22年、27年、令和2年は農業センサス実施年のため調査を中止している。 資料：畜産統計

※ ( ) は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

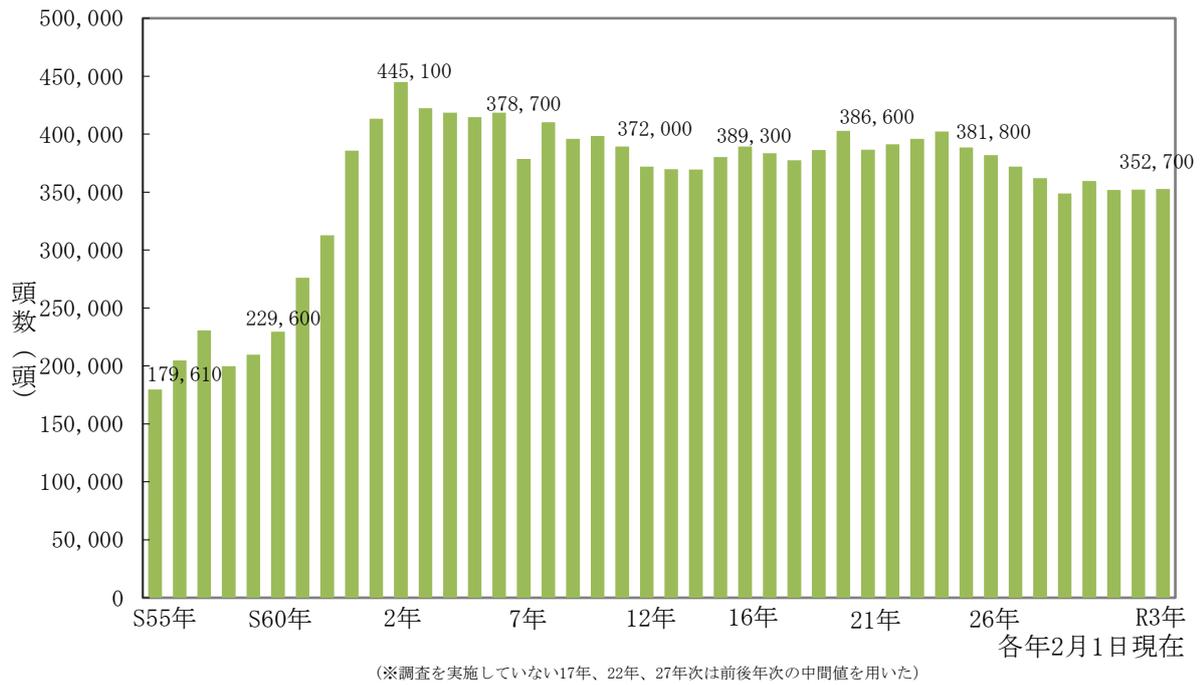
①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



(※ 調査を実施していない17年、22年、27年次は前後年の中間値を用いた)

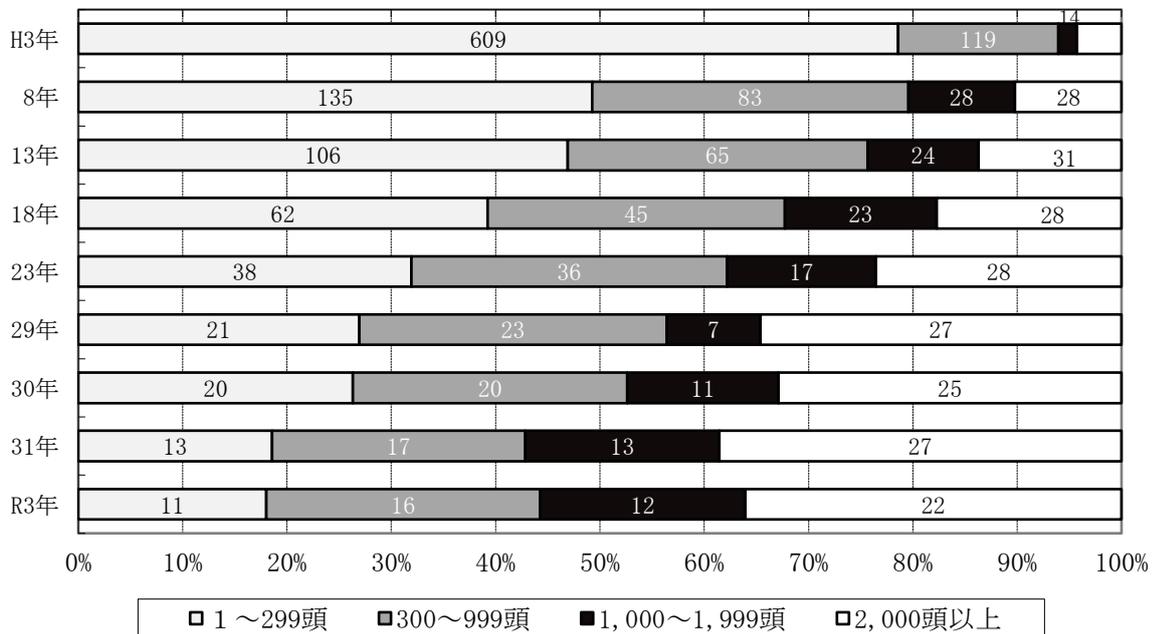
資料：畜産統計

②飼養頭数の推移



資料：畜産統計

(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合(肥育豚)



資料：畜産統計

# 4 採卵鶏



## (1) 飼養戸数及び飼養羽数

飼養戸数は、ここ数年横ばいで推移し、令和3年は27戸であった。飼養羽数は、前々年に比べて2.6%増の7,734千羽となった。また、一戸当たりの飼養羽数は、全国平均の約2.6倍にあたる198千羽で全国一の規模となっている。

(単位:戸、千羽)

区分	飼養戸数	飼養羽数 (採卵鶏)			一戸あたり成鶏めす羽数	
		計	成鶏めす	ひな		
青森県	S55.2.1	770	3,743	3,324	419	4
	60.2.1	890	4,798	3,545	1,253	4
	H 2.2.1	590	5,376	4,066	1,310	7
	7.2.1	60	5,641	4,402	1,239	73
	12.2.1	50	5,747	4,479	1,268	90
	16.2.1	45	5,711	4,617	1,094	103
	21.2.1	29	6,267	4,910	1,357	169
28.2.1	青森	28	6,588	4,980	1,608	178
	全国	2,440	173,349	134,569	38,780	55
29.2.1	青森	28	7,359	5,387	1,972	192
	全国	2,350	176,366	136,101	40,265	58
30.2.1	青森	28	7,549	5,714	1,835	204
	全国	2,200	181,950	139,036	42,914	63
31.2.1	青森	27	7,943	5,186	2,757	192
	全国	2,120	182,368	141,792	40,576	67
R3.2.1	青森	27(27)	7,734(8)	5,332	2,402	198(1)
	全国	1,880	180,918	140,697	40,221	75

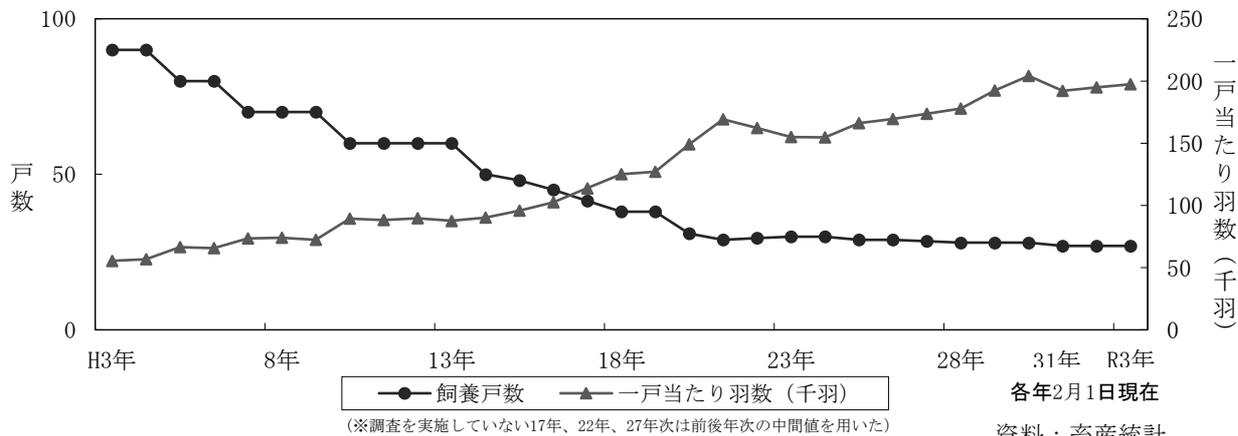
※平成17年、22年、27年、令和2年は農業センサス実施年のため調査を中止している。

資料：畜産統計

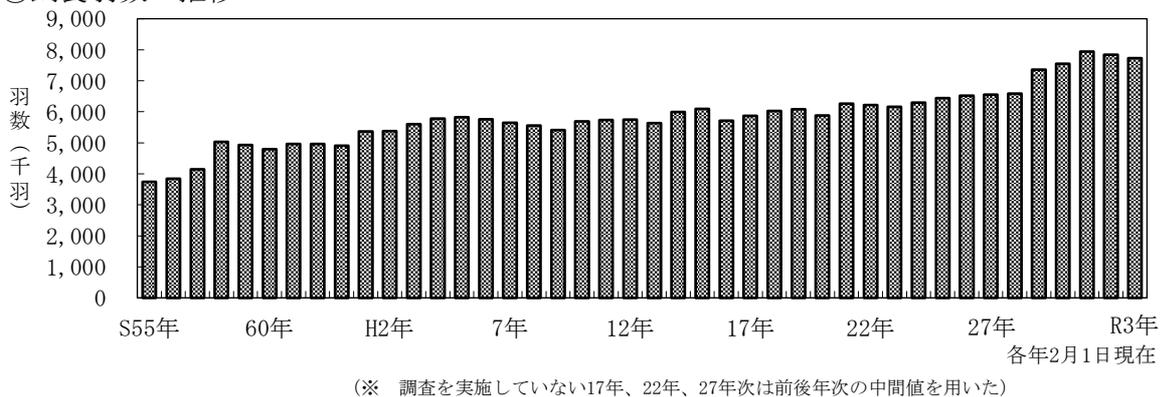
※飼養対象は、平成2年まで成鶏300羽未満を含み、平成3年から成鶏300羽以上、平成10年から成鶏1,000羽以上。

※()は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

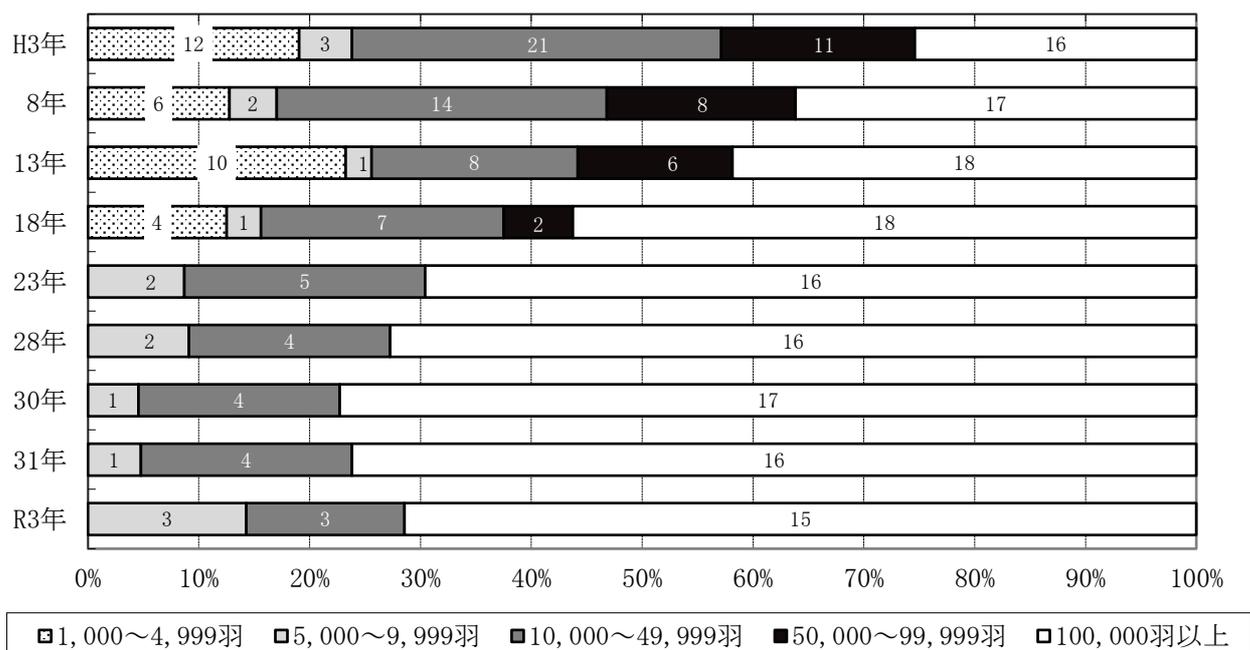
### ①飼養戸数及び一戸当たりの飼養羽数の推移



### ②飼養羽数の推移



(2) 羽数規模別飼養戸数とその割合（成鶏めす）



資料：畜産統計

## 5 ブロイラー



(1) 飼養戸数及び飼養羽数

令和3年の飼養戸数は64戸、飼養羽数は前々年に比べて2.1%増の7,087千羽となった。一戸当たりの飼養羽数は全国平均の1.7倍にあたる110.7千羽となっている。

(単位:戸、千羽)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	26年	29年	30年	31年	R3年	
青森県	飼養戸数	39	43	46	46	48	53	58	66	68	67	64 (6)	
	飼養羽数	1,056	2,119	3,777	4,295	4,517	5,060	6,105	6,844	7,288	7,018	7,087 (4)	
	一戸当たり 羽数	27.1	49.3	82.1	93.4	94.1	95.5	105.3	103.7	107.2	104.7	110.7 (5)	
全国	飼養戸数	—	7,025	5,529	3,853	3,084	2,654	2,392	2,380	2,310	2,260	2,160	
	飼養羽数	—	150,215	150,445	119,682	108,786	102,520	107,141	135,747	134,923	138,776	138,228	139,658
	一戸当たり 羽数	—	21.4	27.2	31.1	35.3	38.6	44.8	57.0	58.4	61.4	61.4	64.7

資料：食鳥流通統計、畜産統計

※平成21年までは、食鳥流通統計として調査。

※平成25年からは、畜産統計として調査。年間出荷羽数3,000羽未満の飼養者を除く。

※ ( ) は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

※平成27年、令和2年は農業センサス実施年のため調査を中止している。

## 6 その他



### (1) 馬

#### ①軽種馬

(単位:戸、頭)

区 分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	31年	R2年	R3年
飼養戸数	272	199	165	146	102	73	53	46	34	36	32
飼養頭数	2,212	2,155	1,872	1,740	1,006	830	438	300	233	290	260

各年2月1日現在  
資料：県畜産課調査

#### ②軽種馬以外

(単位:戸、頭)

区 分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	31年	R2年	R3年
飼養戸数	359	435	280	320	277	228	136	118	112	116	102
飼養頭数	683	1,108	881	1,751	1,522	1,580	1,436	1,540	1,395	1,845	1,880

各年2月1日現在  
資料：県畜産課調査

### (2) めん羊

※平成24年から調査方法が変更となっている

(単位:頭)

区 分	S55年	60年	H2年	6年	12年	17年	22年	27年	31年	R2年	R3年
飼養頭数	463	1,530	610	430	165	132	65	150	148	177	190

各年2月1日現在  
資料：県畜産課調査 (H6年以前は畜産統計)

### (3) 山羊

(単位:頭)

区 分	S55年	60年	H2年	6年	12年	17年	22年	27年	31年	R2年	R3年
飼養頭数	391	180	110	80	85	73	89	140	111	106	110

各年2月1日現在  
資料：県畜産課調査 (H6年以前は畜産統計)

### (4) 蜜蜂

(単位:戸、群)

区 分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	31年	R2年	R3年
飼育戸数	169	160	118	96	92	75	76	103	124	123	124
飼育群数	7,779	7,610	5,553	5,160	5,630	6,065	5,677	5,960	5,826	6,057	5,769

各年2月1日現在  
資料：県畜産課調査

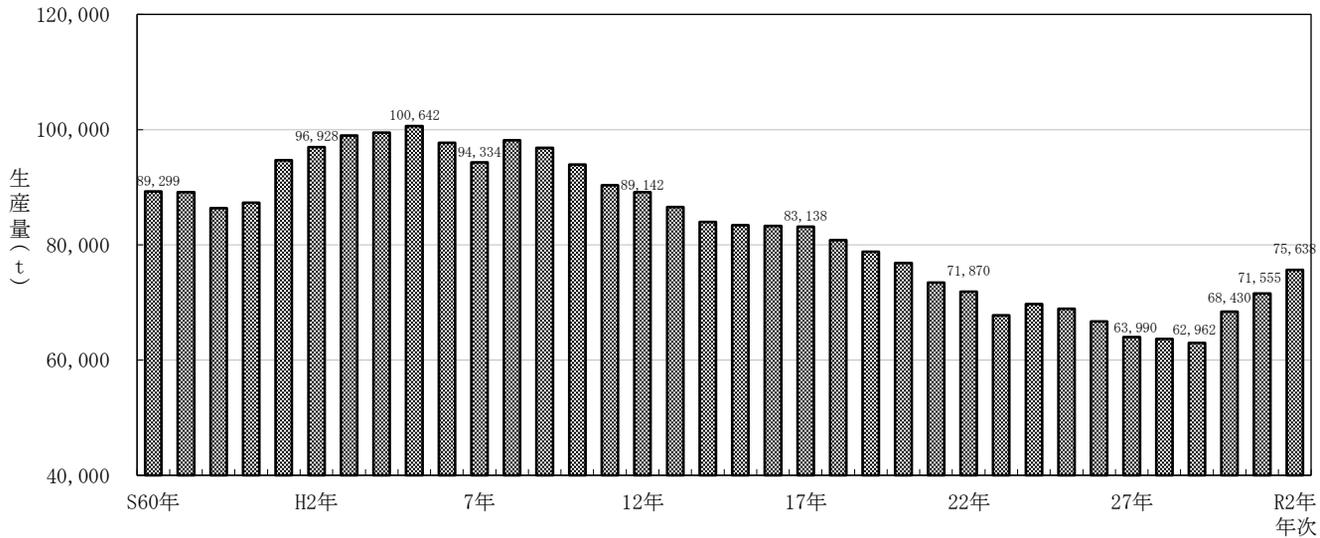
# 第4章 畜産物の流通と価格

## 1 牛 乳



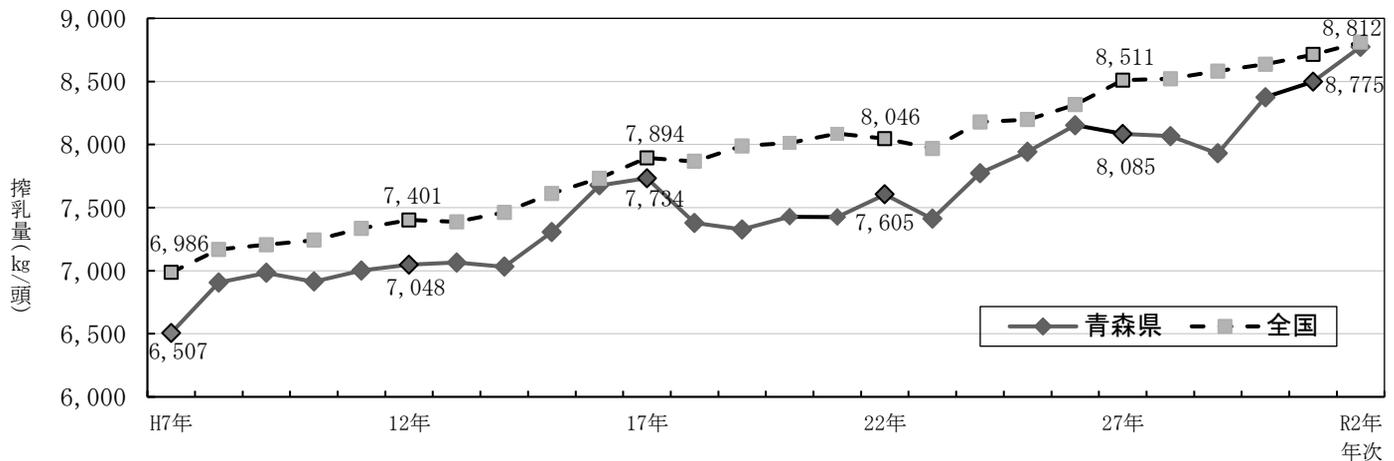
### (1) 生乳生産量

令和2年の生乳生産量は75,638tで、前年に比べて4,083t（5.7%）増加している。



### (2) 経産牛1頭当たり年間搾乳量

令和2年の経産牛1頭当たりの年間搾乳量は、8,775kg/頭となっている。



### (3) 生乳の価格

令和元年度のプール乳価は108.18円/kgで、前年に比べて3.34円/kg上昇している。

(単位：円/kg)

区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
プール乳価 (補給金含む)	90.99	96.31	95.79	96.73	96.41	97.89	100.65	103.85	104.15	104.67	104.84	108.18

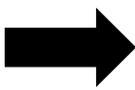
資料：東北生乳販売農業協同組合連合会事業概況

(4) 生乳の流通経路 (令和2年次)



生乳生産量  
75,638 t

県外処理  
67,107 t  
(88.7%)

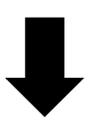


(単位: t、%)

内訳	数量	割合
宮城県	23,909	35.6
茨城県	15,889	23.7
岩手県	10,279	15.3
その他	17,030	25.4
計	67,107	



県内処理  
8,531 t  
(11.3%)



生乳処理量  
8,531 t

飲用牛乳等向け	乳製品向け	その他向け
7,096t (83.2%)	440t (5.2%)	995t (11.7%)

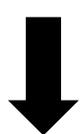
※その他向け: 自家消費、子牛ほ乳用、輸送・製造行程の減耗等を含む。

生産量		
牛乳	うち学乳向け	はっ酵乳・アイス クリーム・チーズ
6,954kl	2,394kl	452kl

※平成28年から牛乳乳製品統計の公表方法が変更となり、県内処理の内訳が非表示となったため、県内乳業工場からの報告データを使用



牛乳  
6,954kl  
(43.0%)



飲用牛乳等移入量  
9,203 kl  
(57.0%)

(単位: kl、%)

内訳	数量	割合
北海道	4,090	44.4
岩手県	3,856	41.9
千葉県	21	0.2
その他	1,236	13.5
計	9,203	

飲用牛乳等  
県内推定出回り量  
16,157kl



資料: 牛乳乳製品統計、県畜産課調査

## 2 肉用牛

### (1) 子牛の取引頭数

令和2年の本県の子牛取引頭数は、前年より0.3%増の10,416頭となっている。

(単位：頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	30年	R1年	R2年	
初生子牛	肉専用種	7,127	8,033	8,535	6,657	7,360	5,856	7,268	6,059	6,393	6,619	6,407
	F1・乳用種	935	3,811	3,668	9,507	8,220	8,603	6,965	5,468	4,089	3,768	4,009
	計	8,062	11,844	12,203	16,164	15,580	14,459	14,233	11,527	10,482	10,387	10,416

資料：全国肉用牛振興基金協会調査

### (2) 子牛の価格

令和2年の県内市場における子牛価格は、黒毛和種は656千円（対前年比8.5%減）、日本短角種は253千円（対前年比6.6%減）となっている。

(単位：千円(税込))

区分	S55年		60年		H2年		7年	12年	17年	22年	27年	30年	R1年	R2年		
	春	秋	春	秋	春	秋	1~12月									
品種別	黒毛和種		285	305	157	206	355	318	279	355	470	387	639	719	717	656
	日本短角種		272	277	177	205	273	187	127	107	209	164	314	264	271	253
子牛平均価格		267	284	161	205	330	260	241	337	462	385	635	717	715	654	

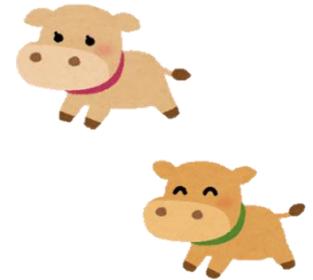
資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報

### (3) 肉用子牛取引状況

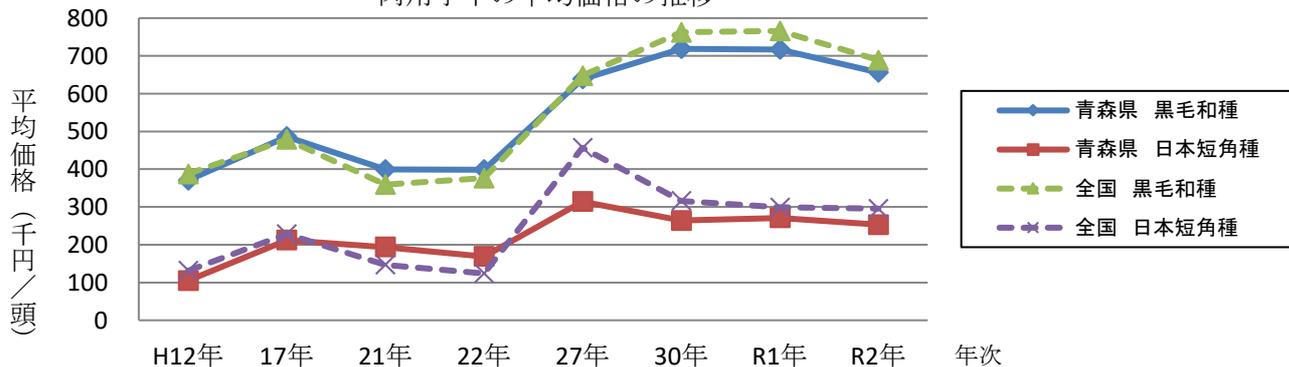
(単位：頭、kg、円、円/kg(税込))

区分	青森県				全国				
	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	
黒毛和種	平成12年	4,713	276	370,760	1,342	355,594	279	387,108	1,385
	平成17年	5,593	285	486,143	1,703	361,864	273	478,716	1,755
	平成21年	6,660	292	399,455	1,368	387,893	278	359,210	1,292
	平成22年	6,516	293	398,952	1,362	352,143	279	376,503	1,349
	平成27年	4,995	293	638,559	2,176	326,300	278	647,489	2,332
	平成30年	4,920	296	718,610	2,424	312,477	284	762,527	2,683
	令和元年	5,127	296	716,844	2,423	312,149	284	766,041	2,694
	令和2年	6,163	313	656,130	2,093	342,798	295	688,976	2,332
日本短角種	平成12年	155	270	104,959	389	1,761	236	131,079	556
	平成17年	88	277	212,350	768	1,218	242	228,122	942
	平成21年	62	276	193,691	702	1,177	242	147,024	607
	平成22年	52	275	169,110	615	1,131	239	123,988	519
	平成27年	58	248	314,019	1,267	963	239	456,982	1,915
	平成30年	21	300	263,982	879	882	239	315,928	1,323
	令和元年	25	294	270,913	920	884	241	298,924	1,240
	令和2年	26	280	253,000	904	793	242	295,502	1,219

資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報



肉用子牛の平均価格の推移

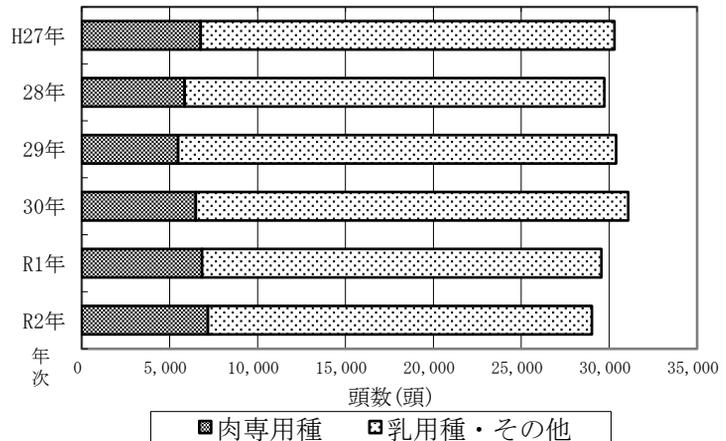


### (3) 肉用牛（成牛）の出荷頭数

令和2年の出荷頭数は、前年に比べて1.8%減の29,009頭で、種類別内訳は、乳用種及びその他75%、肉専用種25%となっている。

(単位：頭)

	肉専用種	乳用種・その他	合計
H27年	6,769	23,530	29,391
28年	5,861	23,871	29,352
29年	5,481	24,919	30,400
30年	6,481	24,605	31,086
R1年	6,847	22,705	29,552
R2年	7,175	21,834	29,009



資料：県畜産課調査、畜産物流通統計(H29以降)

### (4) 肉用牛の流通（令和2年次）



県外処理  
12,309頭  
(42.4%)

(単位：頭、%)

内訳	頭数	割合
東京都	3,879	31.5
岩手県	2,534	20.6
宮城県	1,765	14.3
その他	4,131	33.6
計	12,309	

県内処理  
16,700頭  
(57.6%)  
  
(73.7%)

県内と畜頭数  
22,657頭

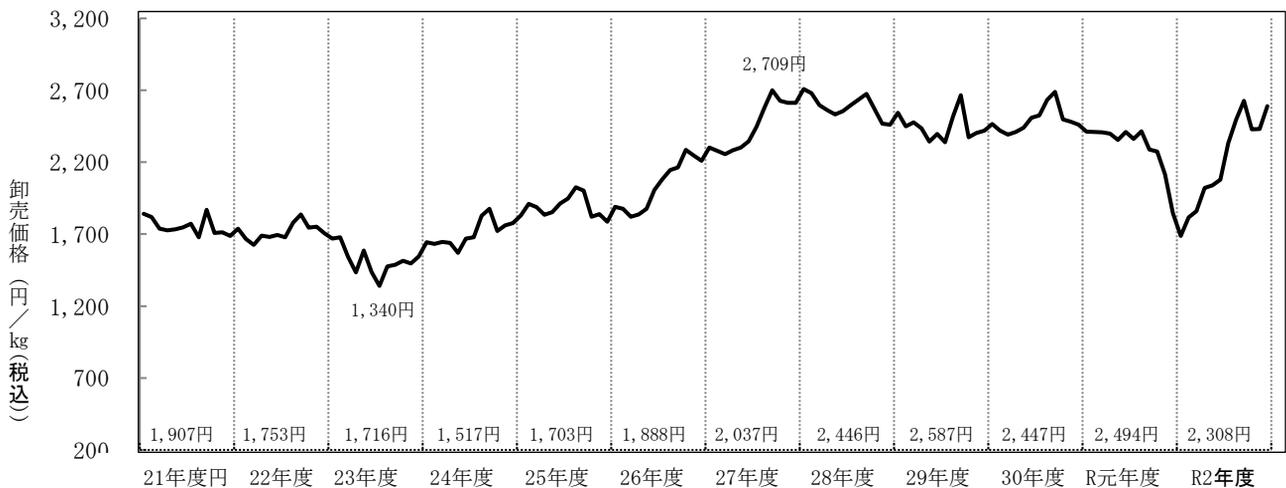
県外からの  
生体移入  
5,957頭  
(26.3%)

(単位：頭、%)

内訳	頭数	割合
岩手県	2,852	47.9
北海道	2,342	39.3
宮城県	231	3.9
栃木県	156	2.6
その他	376	6.3
計	5,957	

資料：畜産物流通統計

### (5) 牛枝肉の卸売価格の推移（東京市場「和牛去勢A4」）

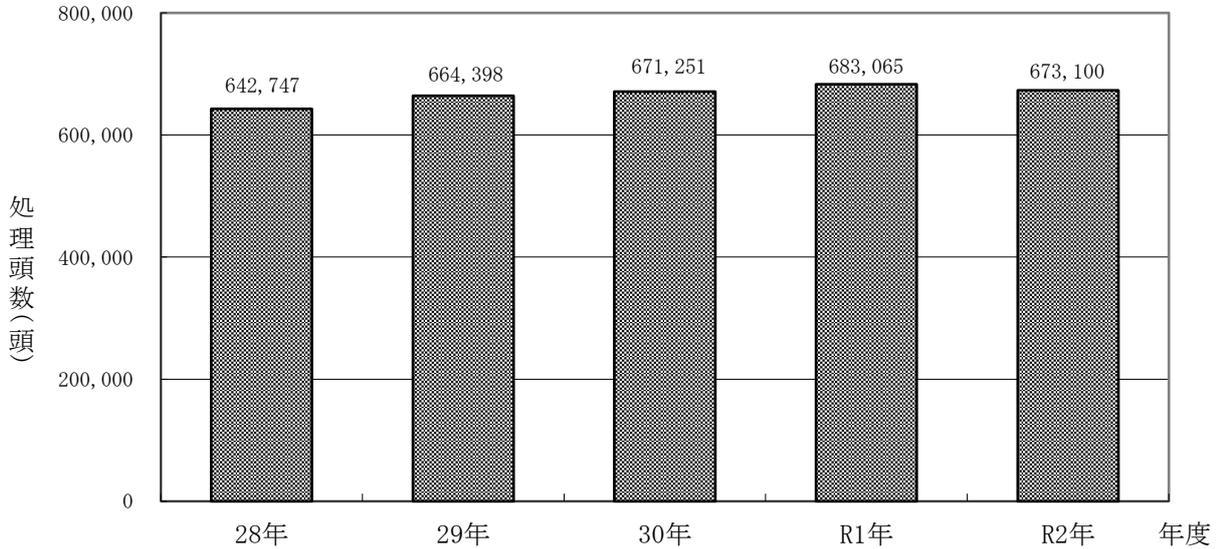


資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

### 3 豚

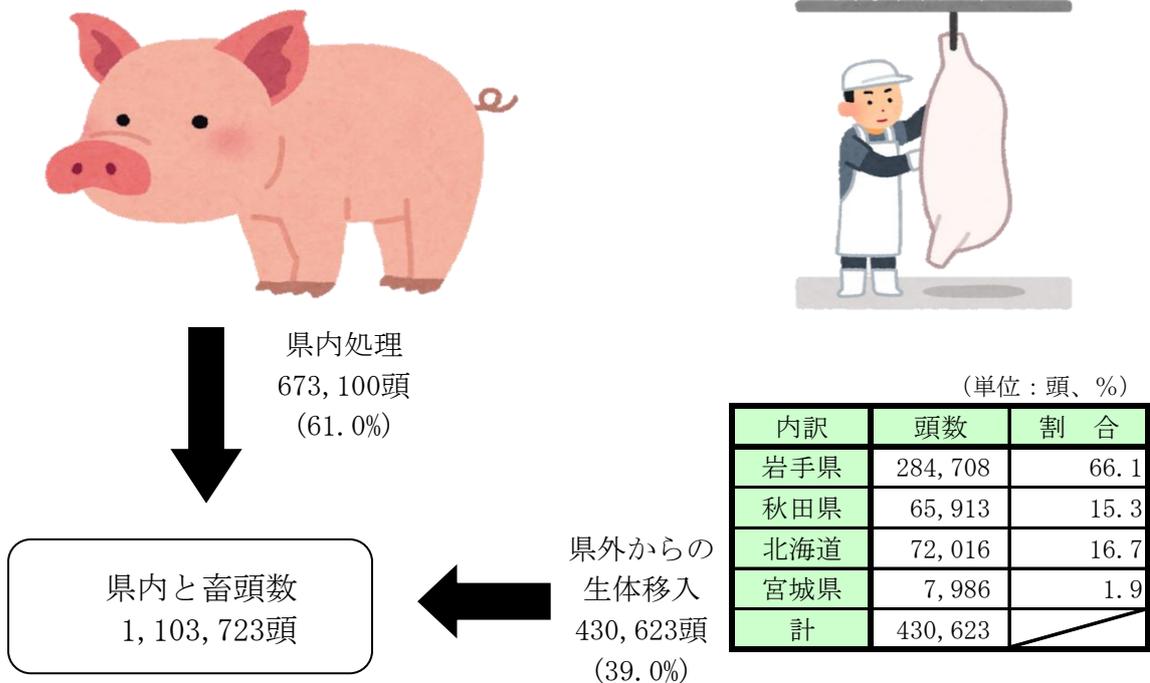
#### (1) 肉豚の県内処理頭数

令和2年度の肉豚の県内処理頭数は、前年に比べて1.5%減の673,100頭となっている。



資料：県食肉衛生検査所調査

#### (2) 肉豚の流通（令和2年度）



資料：県食肉衛生検査所調査

(3) 子豚の価格

(単位：円/頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	30年	R1	R2
価格	25,957	25,606	22,186	18,846	14,606	19,075	15,974	19,864	20,219	19,046	19,274

資料：県畜産課調査

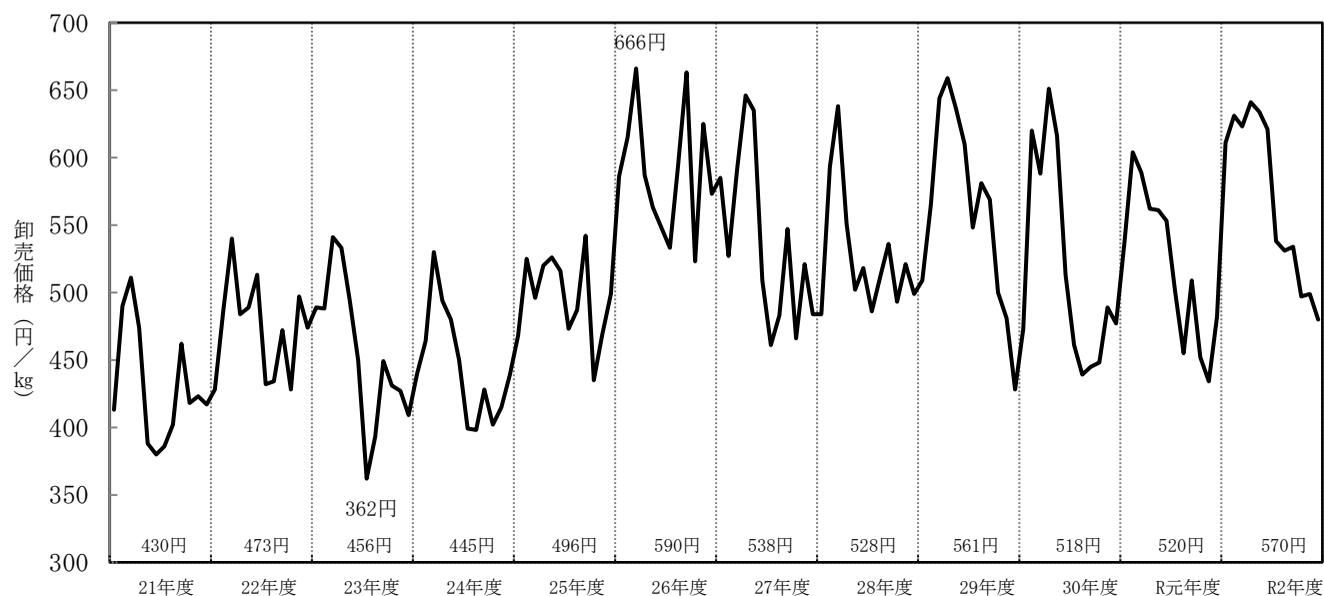
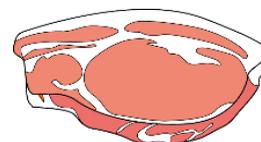
(4) 豚枝肉の卸売価格（東京市場省令規格）

(単位：円/kg)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	30年	R1	R2
価格	628	601	486	458	436	480	462	557	520	525	561

資料：畜産物流通統計

<参考> 豚枝肉の卸売価格の推移（東京市場「上」）



資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

# 4 鶏 卵



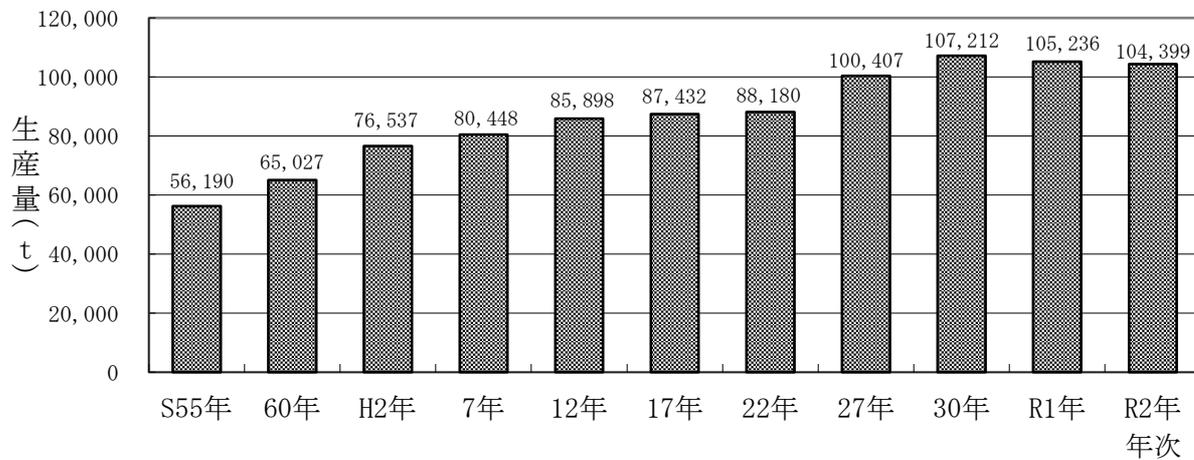
## (1) 鶏卵の生産量及び出荷量

令和2年の鶏卵の生産量は、前年に比べて0.8%減の104,399tとなっている。

(単位：t)

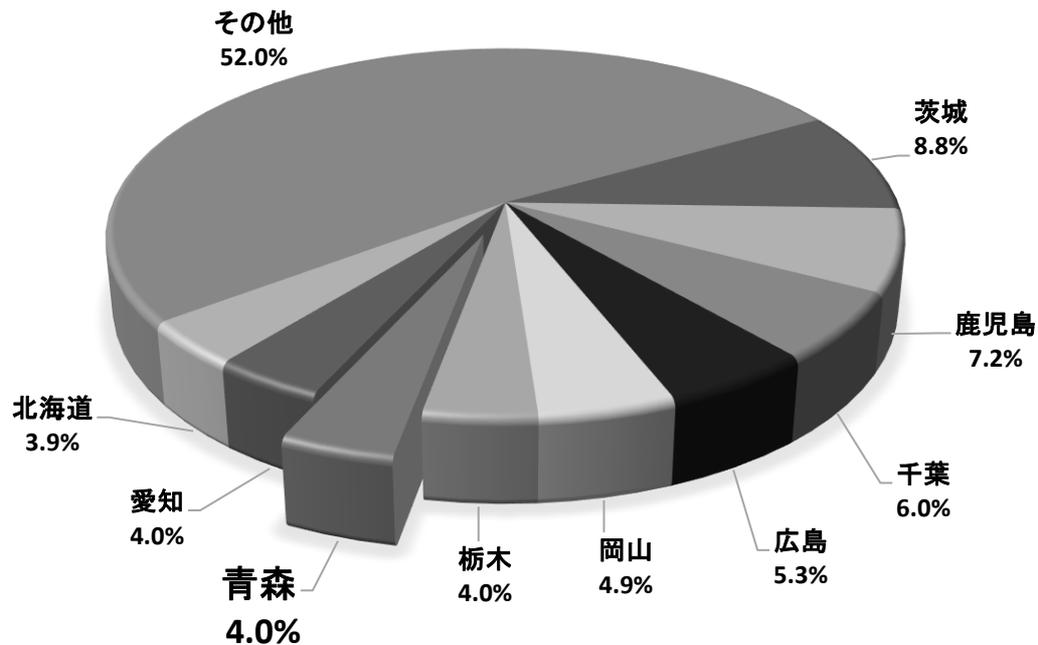
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	30年	R1年	R2年
生産量	56,190	65,027	76,537	80,448	85,898	87,432	88,180	100,407	107,212	105,236	104,399
出荷量	55,108	63,602	74,881	77,808	83,858	85,597	86,538				

※出荷量は平成27年以降データなし



資料：畜産物流通統計

## (2) 鶏卵の都道府県別生産量 (令和2年次)

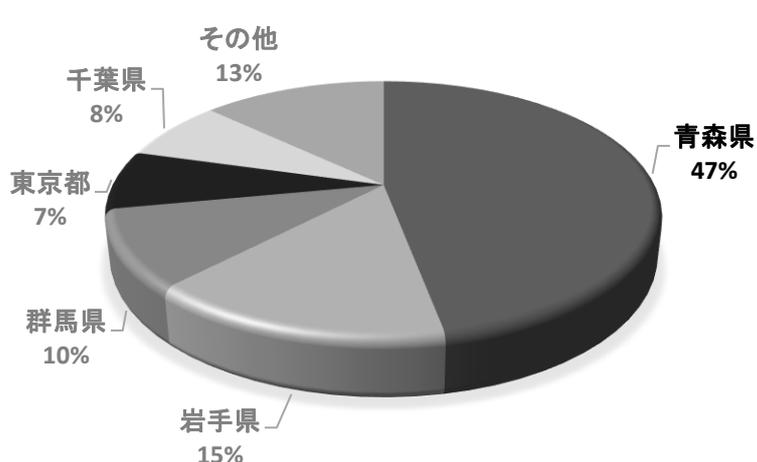


内訳	茨城	鹿児島	千葉	広島	岡山	栃木	青森	愛知	北海道	その他	合計
生産量	232,686	190,021	156,998	140,323	127,841	105,387	104,399	104,192	102,151	1,368,884	2,632,882
割合	8.8%	7.2%	6.0%	5.3%	4.9%	4.0%	4.0%	4.0%	3.9%	52.0%	

資料：畜産物流通統計

### (3) 東京都中央卸売市場入荷量に占める県産鶏卵の割合（令和2年次）

本県産鶏卵の東京都中央卸売市場への入荷量は、全国第1位の4,093tで、全入荷量の47%を占めている。



(単位：t)

内訳	入荷量	割合
青森県	4,093	47%
岩手県	1,321	15%
群馬県	852	10%
東京都	646	7%
千葉県	662	8%
その他	1,130	13%
計	8,704	

資料：東京都中央卸売市場統計情報



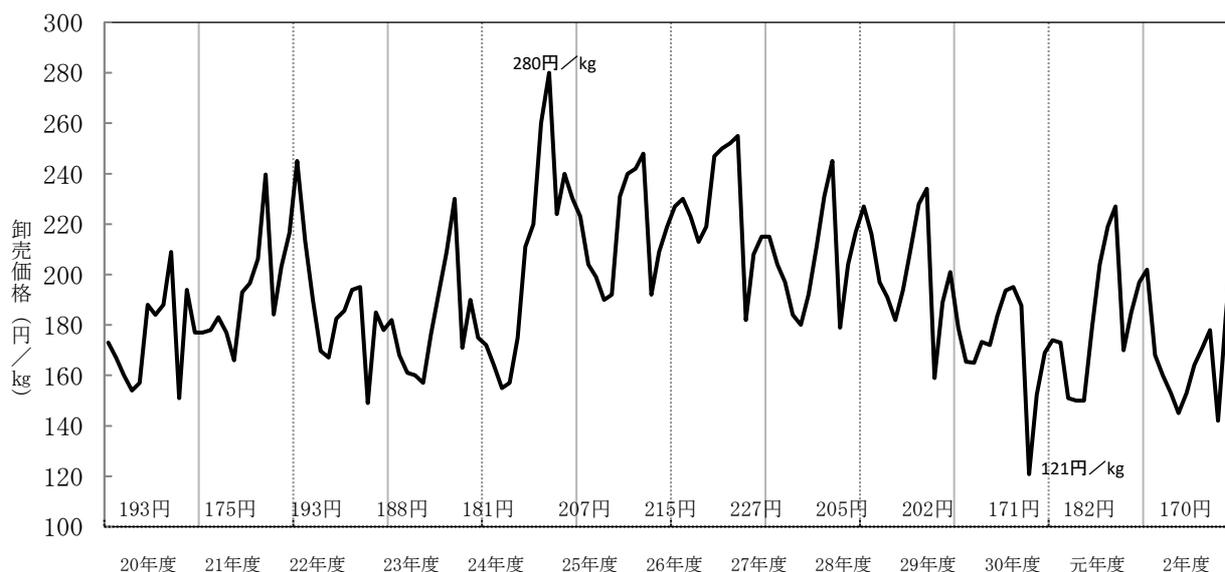
### (4) 鶏卵の卸売価格（東京市場、規格「M」）

(単位：円/kg)

区分	S55年度	60年度	H2年度	7年度	12年度	17年度	21年度	26年度	29年度	30年度	元年度	R2年度
卸売価格	300	279	241	197	185	167	175	216	202	171	182	184

資料：JA全農たまご（株）「たまご相場」  
(昭和60年までは畜産物流通統計)

#### <参考> 鶏卵卸売価格の推移（東京市場、規格「M」）



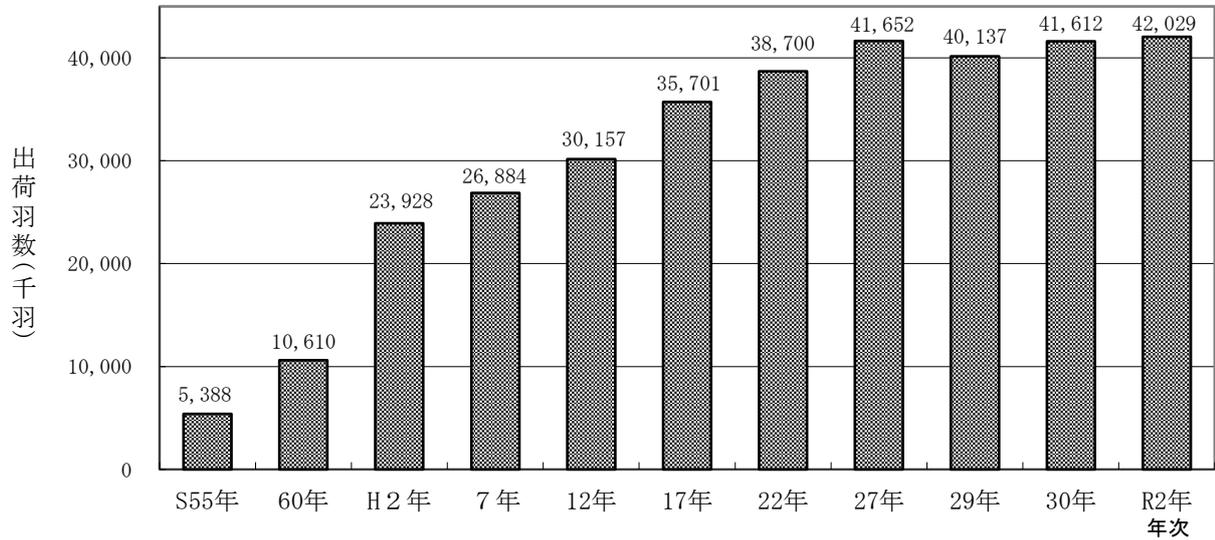
資料：全農畜産販売部情報

## 5 ブロイラー



### (1) ブロイラー出荷羽数

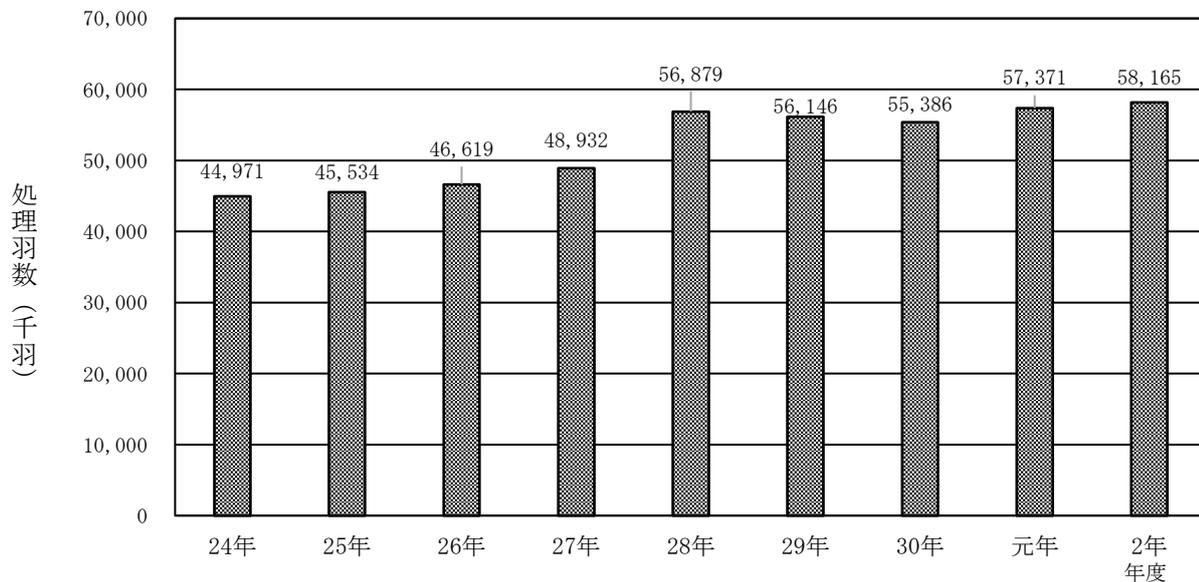
令和2年の出荷羽数は、前々年に比べて1.0%増の42,029千羽となっている。



資料：畜産統計

### (2) ブロイラー処理量

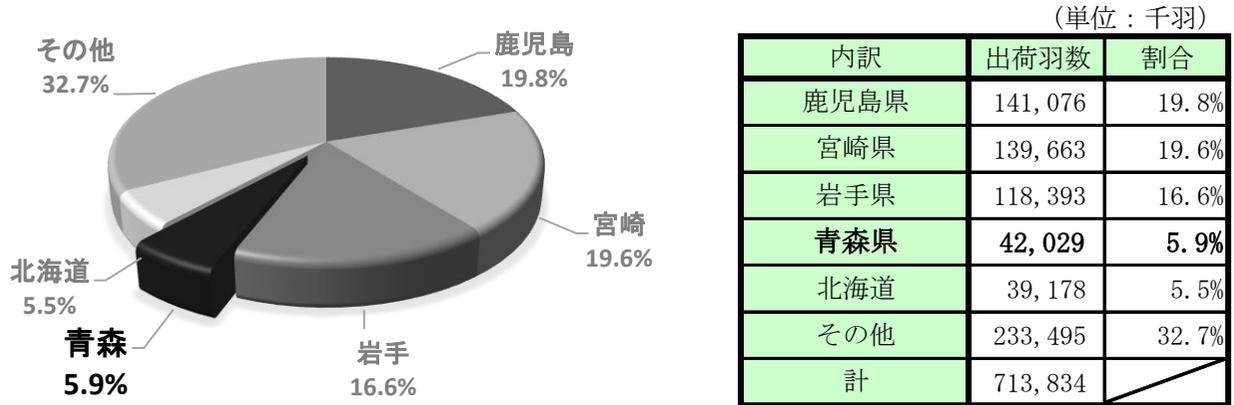
令和2年度の県内処理羽数は、前年に比べて1.4%増の58,165千羽となっている。



資料：県食肉衛生検査所調査

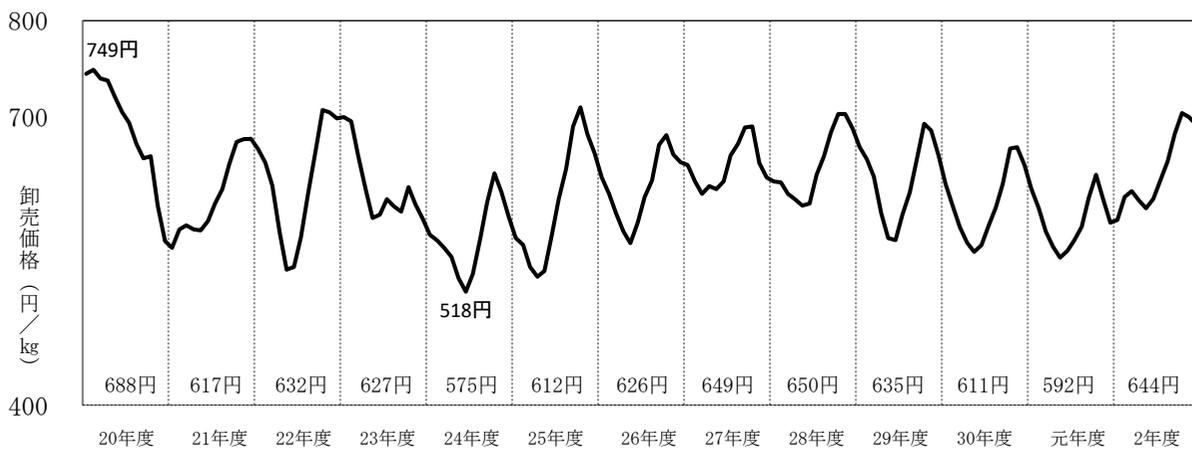
### (3) ブロイラーの都道府県別出荷羽数（令和2年次）

本県産ブロイラーの出荷羽数は、全国4位の42,029千羽で全体の5.9%を占めている。



資料：畜産統計

### (4) 鶏肉の卸売価格の推移（東京市場、もも肉）



資料：食鳥市況情報、ブロイラー卸売価格

## 6 畜産物支出金額、購入数量

### 1人当たり支出金額、購入数量（令和元年次）

(単位：円、g、本)

区分		消費支出	食料費						
			牛乳※	卵	牛肉	豚肉	鶏肉	生鮮魚介	
青森市	支出金額	1,025,723	298,935	4,716	2,626	5,029	10,551	4,695	15,512
	購入数量	—	—	119	12,919	2,060	8,228	5,266	11,289
全国	支出金額	1,185,369	325,096	5,109	3,088	7,131	9,979	5,248	13,935
	購入数量	—	—	128	10,689	2,201	7,131	5,694	7,733

※牛乳の購入数量は200ml 1本換算

資料：家計調査年報

# 第5章 畜産物の生産費と収益性

## 1 生 乳

### (1) 生乳生産費

令和元年の生乳100kg（乳脂肪分3.5%換算乳量）当たりの費用合計は11,417円となり、流通飼料費（38.9%）と労働費（21.0%）が高い割合を占めている。

（単位：円/100kg）

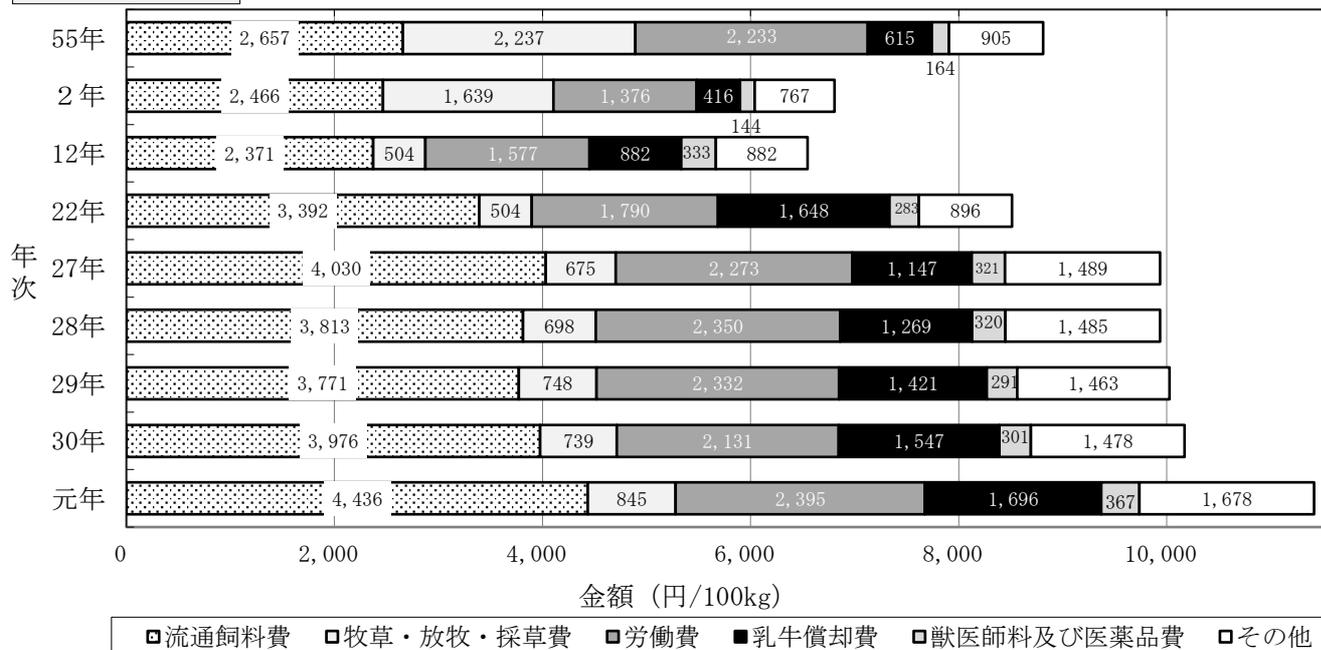
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年	R元年	
生産費	全算入生産費	8,101	7,631	5,677	6,421	6,747	7,290	8,490	9,510	9,152	9,160	9,077	9,920
	費用合計	8,811	8,044	6,808	6,697	6,549	7,313	8,513	9,935	9,935	10,026	10,172	11,417

※平成12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

#### 費用合計の内訳



#### 全算入生産費とは

生産費 = 費用合計 - 副産物価格

全算入生産費 = 生産費 + 支払利子 + 支払地代 + 自己資本利子 + 自作地地代

### (2) 生乳生産における収益性

令和元年の搾乳牛1頭当たり（通年換算）の所得は、前年に比べて10.1%増の272,815円となっている。

（単位：円）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年	R元年	
収益性	所得 (搾乳牛1頭)	196,813	198,860	291,629	259,396	204,675	145,955	164,052	212,067	255,459	245,582	247,725	272,815
	家族労働報酬 (1日)	6,506	8,864	17,379	14,893	13,473	10,656	10,180	12,112	14,192	13,638	15,471	16,938

※平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

# 2 肉用牛

## (1) 子牛生産費

令和元年の子牛1頭当たりの費用合計は、713,972円となり、労働費(26.8%)と流通飼料費(28.0%)が高い割合を占めている。

(単位：円/頭)

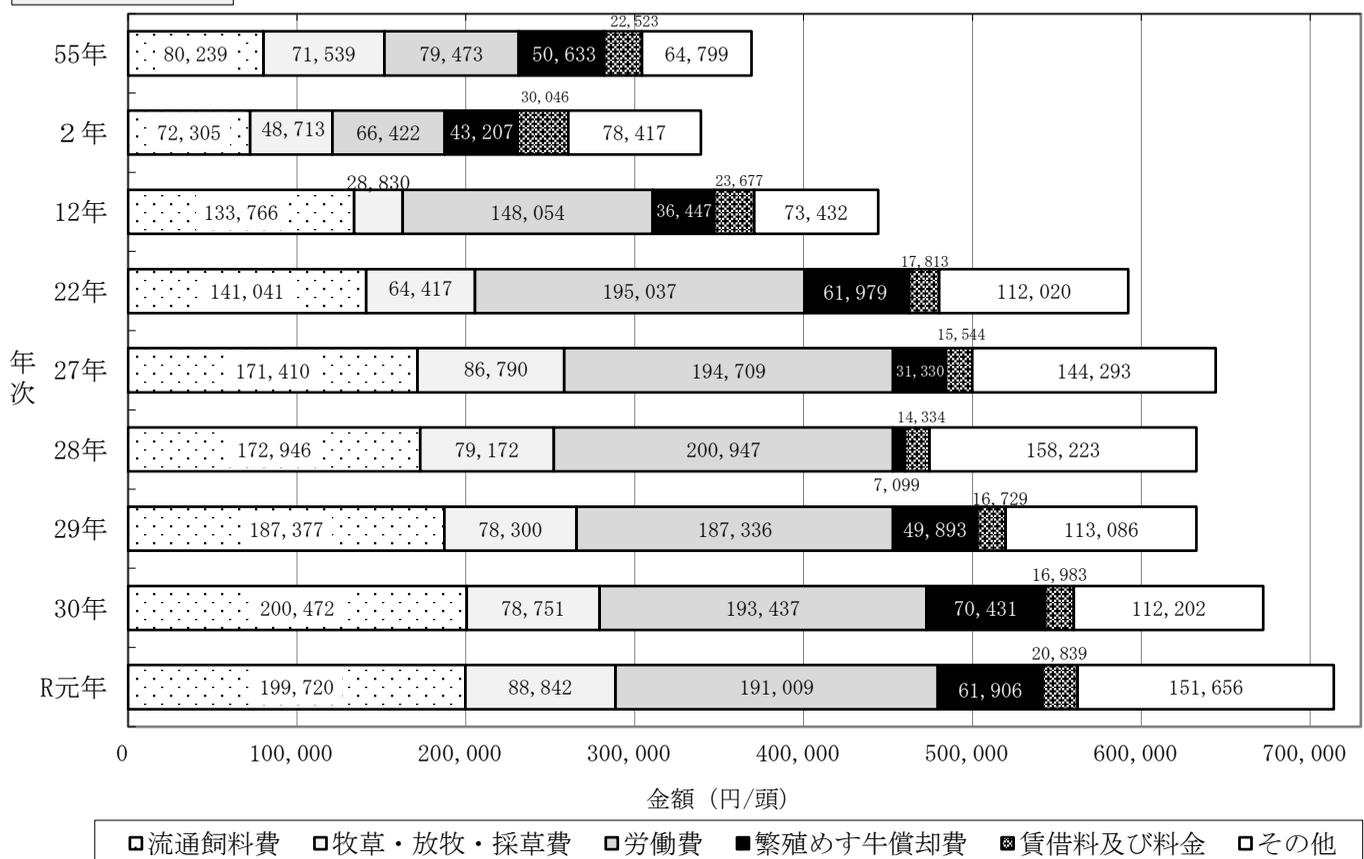
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年	R元年	
生産費	全算入生産費	410,203	397,362	381,656	350,671	468,405	666,565	721,846	712,172	700,997	744,904	800,650	787,152
	費用合計	369,206	367,095	339,110	328,614	444,206	551,043	586,878	644,076	632,721	672,276	720,220	713,972

※平成12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

### 費用合計の内訳



## (2) 子牛生産における収益性

令和元年の繁殖めす牛1頭当たりの所得は、前年に比べて3.8%減の185,295円となっている。

(単位：円)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年	R元年	
収益性	所得	42,251	△ 78,645	218,787	8,545	54,141	132,956	△10,089	220,427	356,671	254,879	192,598	185,295
	家族労働報酬(1日)	△ 21,114	△ 15,064	15,894	△ 3,586	△ 637	1,526	-	8,384	16,315	11,169	6,155	6,101

※平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

### (3) 肥育牛（去勢若齢）生産費

令和元年の肥育牛1頭当たりの費用合計は、1,414,601円となり、もと畜費（62.7%）と流通飼料費（24.2%）が高い割合を占めている。

(単位：円/頭)

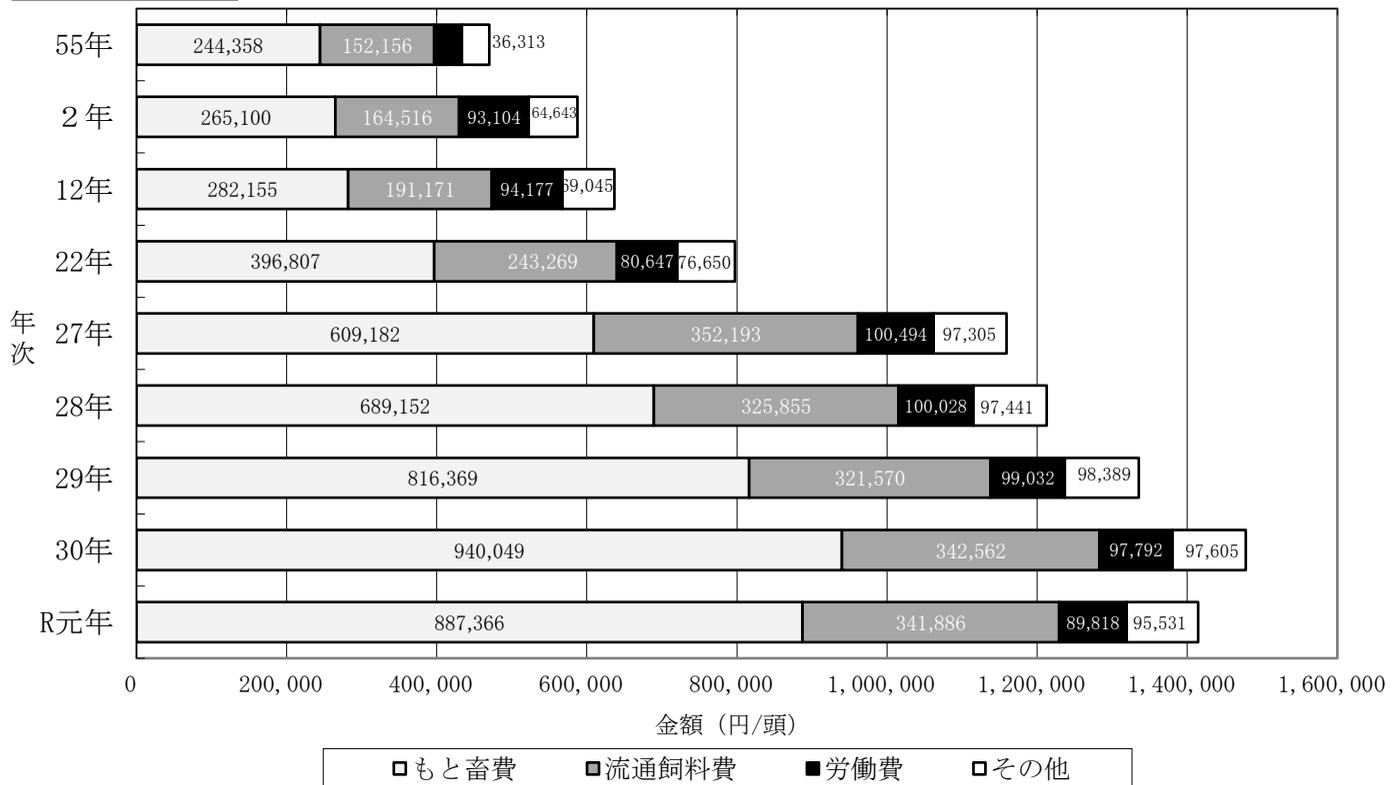
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年	R元年	
生産費	全算入生産費	476,799	406,732	565,619	458,050	623,381	819,921	825,090	1,175,121	1,226,362	1,347,500	1,490,823	1,422,333
	費用合計	470,076	416,459	587,363	455,719	636,548	815,171	797,373	1,159,174	1,212,476	1,335,360	1,478,008	1,414,601

※平成10年から労働費の算出方法変更。12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

#### 費用合計の内訳



### (4) 肥育牛（去勢若齢）生産の収益性

令和元年の肥育牛1頭当たりの所得は、△26,221円となっている。

(単位：円)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年	R元年	
収益性	所得(1頭)	66,515	83,536	101,135	95,105	8,857	192,233	8,866	165,800	228,209	69,684	△19,419	△26,221
	家族労働報酬(1日)	7,089	12,542	7,016	13,760	2,594	25,544	—	18,394	27,073	6,443	—	—

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

資料：畜産物生産費統計

### 3 豚

#### (1) 肥育豚生産費

令和元年の肥育豚1頭当たりの費用合計は、33,744円となり、流通飼料費（66.6%）と労働費（10.9%）が高い割合を占めている。

（単位：円/頭）

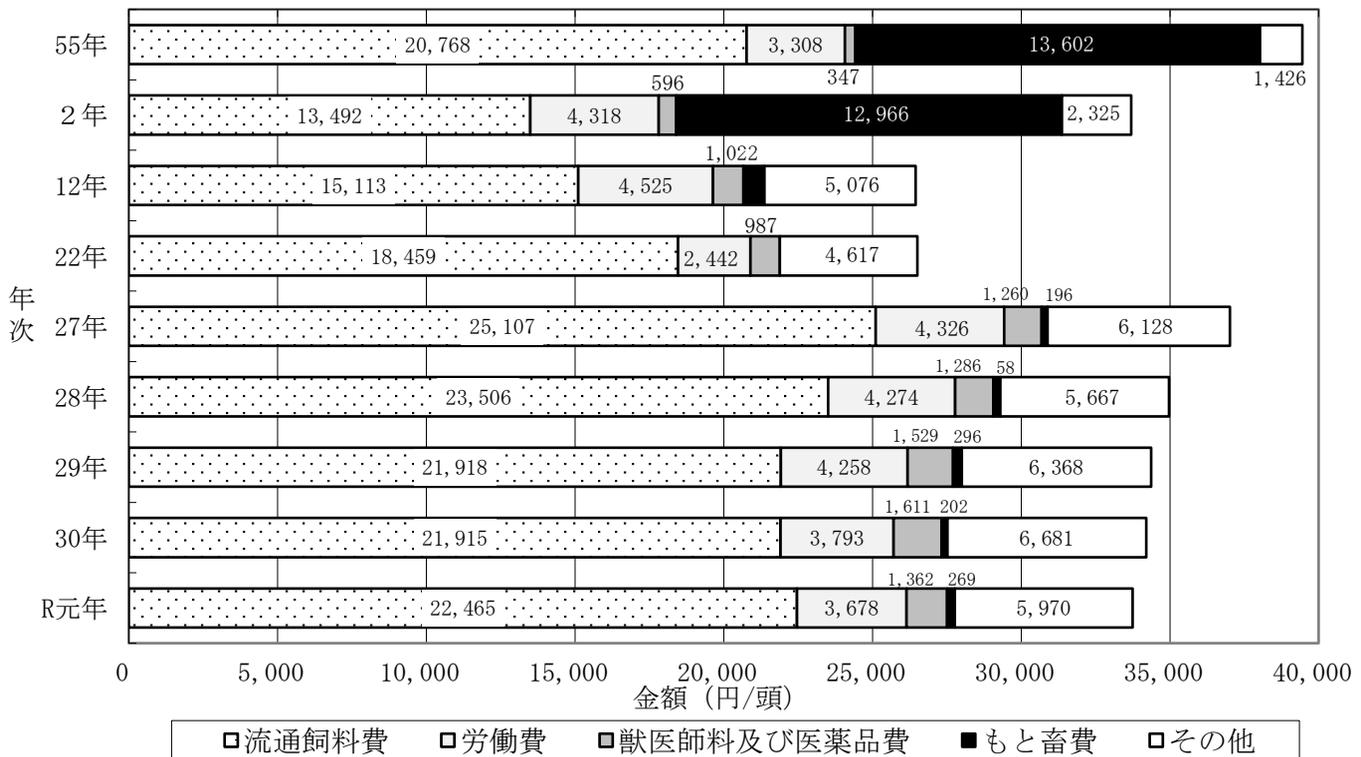
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年	R元年
全算入生産費	39,526	46,560	32,612	25,050	27,324	24,751	26,837	36,897	34,791	34,100	33,939	33,621
費用合計	39,451	47,355	33,697	24,923	26,449	24,360	26,505	37,017	34,967	34,369	34,202	33,744

※平成5年から調査対象農家を肥育経営農家から一貫経営農家へ変更している。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

費用合計の内訳



#### (2) 肥育豚生産の収益性

令和元年の肥育豚1頭当たりの所得は、前年に比べて20.3%増の5,746円となっている。

（単位：円）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年	R元年
所得 (1頭)	△ 496	1,705	△ 317	7,000	5,314	7,945	5,935	5,234	6,446	9,518	4,777	5,746
家族労働報酬 (1日)	—	1,882	△ 1,606	17,600	9,442	26,016	28,281	13,782	17,322	25,903	13,339	17,259

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

資料：畜産物生産費統計

※平成29年からデータなし。